

整理番号	I 4 - 1
------	---------

令和 6 年 3 月 12 日

## 活動報告書

創和クラブ経理責任者  
芝本 和己様

報告者名 林元 光広  
濱田真輔 中谷謙二  
山本大地 辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 2 月 6 日 ~ 令和 6 年 2 月 8 日 ( 2 泊 3 日 )
場 所	①2/6,7 KFC Hall 2nd(東京都墨田区) ②2/7 IKE・SUN PARK(東京都豊島区東池袋) ③2/8 大和市文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)
目 的	①予算審議に必要な知見を得るため ②地域防災と賑わい創出視察のため ③学び、文化、子育て支援のワンストップ施設視察のため
内 容	以下の通り ①2/6 「『まち保育』のススメ 一子どもを育てる、まちが育つ」 講師:三輪律江氏(横浜市立大学大学院都市社会文化研究科 教授) ■子どもの育ち、親の育ちに必要な“群れ”と“まね”が、現代の子育て環境には足りていない。 その解決策のひとつである「まち保育」の実践例は当市においても実践できる可能性を感じたためここに記す。 例)①公園や空き地などのまちの資源を保育に活用する⇒②まちに暮らす様々な年代の人、働く人、公園で寛ぐ人と出会い、挨拶をかわしたり会話を楽しむ⇒③子どもの活動を施設や敷地内だけで完結させず、地域の中にある安心感を得る⇒④園庭などを地域の親子が利用できるようにしたり、子育てに関する情報を提供する。敬老の日や運動会などの行事にまちの人が保育の活動に参加できる機会を創る。まちの人が集まり・出会う場になり、災害時には福祉避難所となる⇒⑤偶然の出会いを継続的なつながりに変え、交流を深める、子どもたちがまちの行事や活動に参加する。まちの人が持つ資源(まちについての知識・情報・伝承遊び・畑)が保育に活かされる⇒⑥まちに暮らす子どもや大人の生活についての相互理解が進む⇒⑦施設敷地外に出かける。公園などの目的地に向かって歩く。まちそのものを楽しみながら歩く⇒①  「自治体財政の見方やポイント 一特に歳入関係から予算書を読む」 講師:金目哲郎氏(弘前大学人文社会科学 准教授) ■予算審議のポイント 【地方税】 1.税金は確実に徴収されているか、収納率向上の取組は？ ⇒スマホ決済アプリによる収納サービス 2.法定外税の検討、課税自主権の活用 ⇒ホテル税・宿泊税・産業廃棄物税・空き家税・再生可能エネルギー地域共生促進税 【地方交付税】 3.〇〇事業は、交付税措置の対象になっているのか？ 4.国が自治体に求めるホットな政策は計上されているか、自治体独自の上乗せ計上はあるか？ ⇒地方財政計画を見れば国が自治体に何を求めているのか、ホットな政策課題がわかる

## 内 容

## 【地方債】

5. 臨時財政対策債が安易に発行されていないか？
6. 過疎対策事業債の発行は計画的に、特にイベント系事業に過疎債を充てる場合は慎重に議論を
7. 建設地方債は、更新整備の必要に応じて発行を

## 【ふるさと納税】

8. 寄附金収入（ふるさと納税）が大きすぎないか？
9. ふるさと納税の返礼品（歳出予算）もチェック、自治体を全国にPRするのにふさわしい地場産品か？
10. ふるさと納税を財源にして実施する事業の内容は適切か？

## ■歳入面の課題

1. 国と地方の財源配分の見直し、地方消費税の拡充
2. 交付税率の引き上げ・交付税の制度改革
3. 交付税の算定や制度運営に自治体が参加する仕組み

2/7

## 「国際的な食料需給情勢と真の食料安全保障 ー政治や私たちができること」

講師：鈴木宜弘氏（東京大学大学院農学国際専攻 教授）

■日本の食料自給率はカロリーベースで38%と言われているが、種や肥料の自給率も考慮すると10%前後であり、海外からの物流が停止すると世界で最も餓死者が出る国。国内生産増強しないとならぬが、逆に国内農業は生産コスト倍増でも農産物の価格が上がらず、廃業が激増しかねない。

今だけ金だけ自分だけの日米のオトモダチ企業が国の政治を取り込み、農家や国民を収奪しようとするのを放置したら、物流が止まれば、国民の食料はなくなる。

農業の崩壊で関連産業や農協・生協も地域の政治・行政も存続できない。

今こそ、協同組合、市民組織など共同体的な力が自治体の政治・行政、心ある企業と連携して地域で奮起し、地域のうねりを国政が受け止めて国全体のうねりにする必要がある。

地域の種を守り、生産から消費まで「運命共同体」として地域循環的に農と食を支えるローカル自給圏。

1つの核は学校給食の地域公共調達。農家と住民一体化で耕作放棄地は皆で分担して耕す。

命を縮める輸入品は国産より高くつくので、消費者も流通・加工も今すぐ国産に。

輸入途絶と消費者の潮流から有機・自然栽培の方向性を視野に。

お金を出せば食料を買う時代は終焉。不測の事態に国民の命を守るのが「国防」なら、地域農業を守ることもそれが安全保障。「防衛費5年で43兆円」の一方で「農業消滅」を進めたら「兵糧攻め」で日本人の餓死は現実味を帯びる。トマホークを爆買いし、コオロギ、培養肉、人口卵の推進でなく、農業にこそ数兆円の予算を早急に付けるべし。

## 「生成AI 政治・行政での応用 ー自然言語処理研究の事例紹介を通じて考える」

講師：狩野芳伸氏（静岡大学情報学部 准教授）

## ■生成AIの今後

- ・商用利用可能なオープンモデルが増える
- ・画像・音声との統合が進行する
- ・Chat GPTの機能がWindows/Office (Microsoft365) にCopilot搭載された
- ・「ホワイトカラーのよくある仕事」が自動化される
- 日々の業務（メール・企画書・報告書・議事録作成、スライド作成等）
- ・正確なのかは人間が出力チェックする必要があるが「下書き」「プレスト」にしては非常に有用

②2/7

## IKE-SUN PARK視察

担当：豊島区議会事務局議会総務課総務グループ 新井清士 主査

豊島区都市整備部公園緑地課 片山裕貴 課長

豊島区都市整備部公園緑地課公園活用グループ 吉澤志保 係長

■造幣局東京支局移転を契機に豊島区とURが連携して防災公園街区整備事業による防災公園区域と市街地区域が一体となったまちづくりを進めている。西側は東京北西圏ターミナル拠点である池袋駅を有する池袋副都心、東側には木造住宅密集地域が隣接しており、その立地特性を活かし、災害に強く文化と賑わいを創出する活力ある市街地の形成を図っている。3.2haの地区の中には下記が整備されている。

内 容
<p><b>【防災性向上】</b></p> <p>1.芝生広場(約6,600㎡) ⇒一時避難場所や救援物資搬入、集配拠点として機能</p> <p>2.ヘリポート ⇒ヘリコプターに対応した耐圧路盤を整備</p> <p>3.防火樹林帯 ⇒木造住宅密集地域に面した外周部に火災の延焼を防ぐシラカシを植樹し、防火樹林帯として機能を確保</p> <p>4.非常用トイレ(イベント時は水洗トイレとして使用、断水時も使用可)、備蓄倉庫、深井戸、応急給水槽、耐震性貯水槽(常時40トン備蓄)、発電機、ソーラー電源、かまどベンチ(炊き出し用かまどが収納)、非常用公衆電話、バルーン投光器</p>
<p><b>【にぎわい創出】</b></p> <p>5.カフェ(公募対象公園施設) ⇒カフェ隣接のウッドデッキを特定公園施設として整備</p> <p>6.コトポート(事業者の自主事業)</p> <p>7.ファーマーズマーケット(豊島区の自治体SDGsモデル事業・事業者の自主事業) ⇒農産物や区内の名産品等のマーケットを毎週末開催</p> <p>8.IKEBUS停留所、遊具や健康遊具等を整備 ⇒防災公園を池袋駅や池袋周辺4公園等とつなぐ</p>
<p><b>【造幣局時代や地域の歴史の承継】</b></p> <p>9.造幣局遺構を活用したテーブル ⇒造幣局のマンホールをテーブルとして活用</p> <p>10.モニュメント ⇒かつての排水口をモニュメントとして活用</p>
<p><b>【文化交流機能の誘導】</b></p> <p>11.東京国際大学池袋キャンパス ⇒地上22階、延床面積約35,000㎡</p>
<p>※公園と大学隣接の0.5ha部分は豊島区がURから借地をして池袋保健所ととしまキッズパークとして暫定活用中</p>
<p>■事業手法</p> <p>◎防災公園街区整備事業</p> <p>1.URが用地を取得するため、用地取得時に地方公共団体の負担がない 2.地方公共団体に代わり、URが補助金を申請し、交付を受け、事業を実施 3.一般財源部分は割賦償還できるため短期間に集中する財政負担を平準化</p>
<p>◎公募設置管理制度(Park-PFI)</p> <p>飲食店等の公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用して特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を公募により選定する制度。設置管理許可期間の特例(最長20年)や建蔽率の特例(10%の上乗せ)等の特例措置が適用可能であり、民間事業者が園内で賑わい創出に資する飲食店等の事業を起こしやすい環境の醸成を図ることができる</p>
<p>◎管理運営を見据えた事業実施体制の構築</p> <p>設計や施工、管理運営を行う企業で構成されるコンソーシアムを公募し、選定したコンソーシアムの構成企業との個別契約(協定)により事業を実施することで、管理運営(使われ方)を見据えた設計や施工を実現した</p>

内 容	
<p>■主な3つの機能</p> <p>1.一時避難場所としての機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発災時、木造住宅密集地域に隣接する公園として機能</li> <li>・火災の延焼を防ぐシラカシが植樹され(防火樹林)、地震や火災発生時には、約9,000人収容可能な避難場所として機能</li> <li>・安全が確保された後は、近隣の救援センターに避難者を誘導</li> </ul> <p>2.ヘリポート機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区内最大規模の公園として、ヘリポート機能を有しており、道路閉塞時には各種物資や傷病者の搬送を行う</li> </ul> <p>3.救援物資集積拠点としての機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に国や都、全国各地の自治体や団体等から送られてくる救援物資を本公園に集積し、区内各所の救援センター(避難所)へ搬送する</li> </ul> <p>③2/8</p> <p>大和市文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)</p> <p>担当:大和市屋内こども広場 森貴志 副館長 株式会社図書館流通センター 南関東支社 神奈川営業部 山内賢治 部長</p> <p>■図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場を中心とした文化複合施設 駅から徒歩圏内のワンストップ施設開設により治安改善、子育て世代からの人気上昇中。 地域住民のみならず、近隣住民の利用者数も増加しており、本市にも応用したい。</p> <p>1F:メインホール(1007席 1階795席 2階212席)、サブホール(272席 平土間使用可)、ギャラリー(219.3㎡ 天井高4m 壁長114.5m)総合案内、図書館(新刊本、身近な暮らしに関する本、雑誌等、気軽に読める本が揃う、自動貸出機、蔵書検索機(OPAC))、授乳室(個室、調乳設備、おむつ交換台)、カフェ(スターバックス)、放送スタジオ(FMやまと:市政情報や地域密着情報を放送するコミュニティFMのスタジオ、災害時には災害関連情報を優先して放送)</p> <p>2F:市民交流ラウンジ(歓談、ビジネスの打合せ可、有線LAN、電源、印刷スペース有、セカンドオフィス利用可)、図書館(政治、法律、経済、教育等、社会問題に関する資料、閲覧席、自動貸出機、蔵書検索機(OPAC))、コインロッカー(110個・1回100円)、大和市役所大和連絡所、大和市イベント観光協会</p> <p>3F:げんきこ広場(3歳～小学校2年生、親子のあそびの広場、専門スタッフがポーネルドプロデュースの遊具を使い様々な遊びを提案)、ちびっこ広場(0歳～2歳の乳幼児の親子あそびの部屋)、保育室(保育士常駐、最大4時間までお預かり)、相談室(保育士)、多目的室、赤ちゃんの駅(授乳室、オムツ替え室)、こども図書館(乳幼児から児童向け)、こども読書室、おはなしのへや(絵本の読み聞かせや紙芝居、手あそび等)、こどもシアターブース(図書館のDVD視聴可)、スタジオ(大 40名:アップライトピアノ、中 5名;ドラムセット、シンセサイザー、アンプ、小 2名)、マルチスペース(小規模ピアノ発表会、合唱・楽器の練習等)</p> <p>4F:健康コーナー・健康テラス(健康に関する図書・資料の展示、健康講座等)、健康度見える化コーナー(体組成計、骨健康度測定器、電動血圧計、血管年齢測定器、脳年齢測定器は自由に利用可、測定結果を踏まえ健康、食事、運動に関する相談やアドバイスを受けられる)、メインカウンター、予約本コーナー(予約した本の貸出手続を自身で行える)、ティーンズコーナー(中高生向けの本や学校生活に関連する本が揃っている)、まんが・新聞・雑誌コーナー、シアターブース、ロボットコーナー(暮らしに役立つ様々なロボットを展示している)、読書テラス</p> <p>5F:レファレンスカウンター(専門図書館員常駐)、情報検索コーナー(商用データベース利用可)、地域資料コーナー、読書室、点字図書室、対面朗読室</p> <p>6F:市民交流スペースぷらっと大和(食事・歓談可)、講習室、大会議室(55名)、中会議室(25名)、小会議室(16～18名)、和室(22畳 24名)、調理実習室、会議室、文化創造室・会議室、印刷室、大和市役所図書・学び交流課</p>	

整理番号	I 4 - 1
------	---------

令和 6 年 3 月 12 日

## 活動報告書

創和クラブ経理責任者  
芝本 和己 様

報告者名 林元光広 中谷謙二  
山本大地 辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 2 月 8 日 ~ 令和 6 年 2 月 9 日 (1泊2日)
場 所	①2/9 川崎市子ども夢パーク(神奈川県川崎市) ②2/9 岐阜市立草潤中学校(岐阜県岐阜市)
目 的	①多様な子ども達の居場所視察のため ②不登校生徒のための公立中学校視察のため
内 容	以下の通り <p>①2/9 川崎市子ども夢パーク(神奈川県川崎市) 担当: 認定NPO法人フリースペースたまりば 理事長 西野博之氏</p> <p>川崎市子ども夢パークは市民や子どもたちとの意見交換により、2000年12月に制定、2001年4月に施行された「川崎市子どもの権利に関する条例」を実現する施設で、2003年7月にオープン、2006年4月1日から指定管理者制度が導入され「川崎市子ども夢パーク共同運営事業体」(公益財団法人川崎市生涯学習財団と特定非営利活動法人フリースペースたまりば)が受託し、管理・運営を行っている。</p> <p>施設の特徴は循環システム型で整備するとしており、「遊ぶ」を「考える」⇔「つくる」⇔「こわす」⇔「考える」の繰り返しと考え、施設も子どもたちが安全に使用できる基本的なものだけが整備されており、その後、子どもたちが施設を使いながら自分たちで創っていくことができる「スケルトン建築様式」を採用しており、将来的に子どもたちが自分たちで増築・改築する等の多様性や可変性を確保している。</p> <p>毎月開催されている「つくりつづける会」にはスタッフ、市民、子どもたちが参加して、子どもたちの「やってみよう！」を実現するための話し合いが行われ、いろいろな大人が自らの得意を持ち寄り、子どもに関わり、見守ることによって多様な子どもたちの感性を育てている。ひとりで静かに過ごしたい時に適した部屋や、バンド練習を行うスタジオ、みんなと泥遊びや水遊びを存分に楽しめるプレーパークなど、その日の気分にあった居場所をつくっており、巨大ハンモックや滑り台も大人と一緒に子どもたちがつくっている。</p> <p>同パーク内に2003年7月「フリースペースえん」も同時にオープン。同施設は、学校外で多様に育ち、学ぶ場として、主として学校の中に自分の居場所を見出せない子どもや若者たちのスペース。押しつけになるようなプログラムはなく、いつ来ていつ帰るか、どのように過ごすかは自分で決める事ができる。</p> <p>上記の指定管理料は約79,000千円で、毎年15,000千円の寄附を集めて運営している。</p> <p>年間150~200件の視察があり、海外からも受け入れているが、それは地域に子どもたちの居場所がないからであり、不登校が30万人に及び年間500人以上が、自ら命を断つという異常事態を何とか解決したいとの想いをもつ方々が答えを求めて来訪しているのであろう。</p>

## 内 容

②2/9

岐阜市立草澗中学校(岐阜県岐阜市)

担当:教頭先生

不登校生徒のための公立中学校であり、登校するかどうか、時間割も担任も生徒自身が決め、昼食を食べる場所も自ら選ぶなど「学びたいときに、学びたいところで、学びたいことを学べる学校」で、年間の授業時間数は770時間で一般校の1015時間より少な目である。授業は生配信もされており、タブレット端末を使用して、自宅や構内の別の場所で受講することも可能。他の学年の授業を受けることもできる。また、学びなおしのできる部屋もあり、小学生から中学生までの参考書や問題集が備えられており、例えば小学校の早い時期に不登校となり、漢字が読めない生徒もこの部屋で自分のペースで漢字の勉強に取り組むこともできる。また、図書室にはテントが張っており、その中に入ることで集中して読書をすることもできる。陶芸や木工ができる部屋もあり、プロ並みの腕前を持つ生徒が創作活動に没頭していた。

このような多様な取り組みが、公立の中学校でおこなわれていることは先進的であり、本市においても同様の対応ができないか検討したい。



## 旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 東京都・大和市(特別職)		用 務 政務活動調査のため				旅行期間 自 2月6日 至 2月8日		日 数 2 泊 3 日		
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄 道 賃			船 空 賃 航空賃	車 賃 実費又は定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 料 両	車 金 料					
2/6	和歌山市 - 東京都	628.7	9,790		1,600 5,400					人事課計算 (23-0215)
2/8	東京都 - 大和市	47.7	210 480							
2/8	大和市 - 和歌山市	600.1	610 8,910		5,400 1,600		4,620 300			
	-									
	-									
計		1,276.5	20,000		14,000		10,500	-	-	¥ 87,400 円

航空機利用区間	公用車等利用区間
---------	----------

請 求 書

下記のとおり請求します。

令和6年 月 日

和歌山市長 尾花正啓 様

所 属 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議員	市長級	44,500			C2+(F1×3)	87,400	浜田 真輔		
					42,900				
小計		44,500 円	- 円	- 円	42,900 円	87,400 円	1 人		



整理番号	J11-1
------	-------

令和 6 年 3 月 12 日

## 活動報告書

創和クラブ経理責任者  
芝本 和己様

報告者名 林元 光広  
濱田真輔 中谷謙二  
山本大地 辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 2 月 6 日 ~ 令和 6 年 2 月 8 日 (2泊3日)
場 所	①2/6,7 KFC Hall 2nd(東京都墨田区) ②2/7 IKE-SUN PARK(東京都豊島区東池袋) ③2/8 大和市文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)
目 的	①予算審議に必要な知見を得るため ②地域防災と賑わい創出視察のため ③学び、文化、子育て支援のワンストップ施設視察のため
内 容	以下の通り ①2/6 「『まち保育』のススメ 一子どもを育てる、まちが育つ」 講師:三輪偉江氏(横浜市立大学大学院都市社会文化研究科 教授) ■子どもの育ち、親の育ちに必要な“群れ”と“まね”が、現代の子育ち環境には足りていない。 その解決策のひとつである「まち保育」の実践例は当市においても実践できる可能性を感じたためここに記す。 例)①公園や空き地などのまちの資源を保育に活用する⇒②まちに暮らす様々な年代の人、働く人、公園で寛ぐ人と出会い、挨拶をかわしたり会話を楽しむ⇒③子どもの活動を施設や敷地内だけで完結させず、地域の中にある安心感を得る⇒④園庭などを地域の親子が利用できるようにしたり、子育てに関する情報を提供する。敬老の日や運動会などの行事にまちの人が保育の活動に参加できる機会を創る。まちの人が集まり・出会う場になり、災害時には福祉避難所となる⇒⑤偶然の出会いを継続的なつながりに変え、交流を深める、子どもたちがまちの行事や活動に参加する。まちの人が持つ資源(まちについての知識・情報・伝承遊び・畑)が保育に活かされる⇒⑥まちに暮らす子どもや大人の生活についての相互理解が進む⇒⑦施設敷地外に出かける。公園などの目的地に向かって歩く。まちそのものを楽しみながら歩く⇒①  「自治体財政の見方やポイント 一特に歳入関係から予算書を読む」 講師:金目哲郎氏(弘前大学人文社会科学 准教授) ■予算審議のポイント 【地方税】 1.税金は確実に徴収されているか、収納率向上の取組は? ⇒スマホ決済アプリによる収納サービス 2.法定外税の検討、課税自主権の活用 ⇒ホテル税・宿泊税・産業廃棄物税・空き家税・再生可能エネルギー地域共生促進税 【地方交付税】 3.〇〇事業は、交付税措置の対象になっているのか? 4.国が自治体に求めるホットな政策は計上されているか、自治体独自の上乗せ計上はあるか? ⇒地方財政計画を見れば国が自治体に何を求めているのか、ホットな政策課題がわかる

## 内 容

## 【地方債】

5. 臨時財政対策債が安易に発行されていないか？
6. 過疎対策事業債の発行は計画的に、特にイベント系事業に過疎債を充てる場合は慎重に議論を
7. 建設地方債は、更新整備の必要に応じて発行を

## 【ふるさと納税】

8. 寄附金収入(ふるさと納税)が大きすぎないか？
9. ふるさと納税の返礼品(歳出予算)もチェック、自治体を全国にPRするのにふさわしい地場産品か？
10. ふるさと納税を財源にして実施する事業の内容は適切か？

## ■歳入面の課題

1. 国と地方の財源配分の見直し、地方消費税の拡充
2. 交付税率の引き上げ・交付税の制度改革
3. 交付税の算定や制度運営に自治体が参加する仕組み

## 2/7

## 「国際的な食料需給情勢と真の食料安全保障 ー政治や私たちができること」

講師：鈴木直弘氏(東京大学大学院農学国際専攻 教授)

■日本の食料自給率はカロリーベースで38%と言われているが、種や肥料の自給率も考慮すると10%前後であり、海外からの物流が停止すると世界で最も餓死者が出る国。国内生産増強しないとならぬが、逆に国内農業は生産コスト倍増でも農産物の価格が上がらず、廃業が激増しかねない。

今だけ金だけ自分だけの日米のオトモダチ企業が国の政治を取り込み、農家や国民を収奪しようとするのを放置したら、物流が止まれば、国民の食料はなくなる。

農業の崩壊で関連産業や農協・生協も地域の政治・行政も存続できない。

今こそ、協同組合、市民組織など共同体的な力が自治体の政治・行政、心ある企業と連携して地域で奮起し、地域のうねりを国政が受け止めて国全体のうねりにする必要がある。

地域の種を守り、生産から消費まで「運命共同体」として地域循環的に農と食を支えるローカル自給圏。

1つの核は学校給食の地域公共調達。農家と住民一体化で耕作放棄地は皆で分担して耕す。

命を縮める輸入品は国産より高くつくので、消費者も流通・加工も今すぐ国産に。

輸入途絶と消費者の潮流から有機・自然栽培の方向性を視野に。

お金を出せば食料を買う時代は終焉。不測の事態に国民の命を守るのが「国防」なら、地域農業を守ることこそが安全保障。「防衛費5年で43兆円」の一方で「農業消滅」を進めたら「兵糧攻め」で日本人の餓死は現実味を帯びる。トマホークを爆買いし、コオロギ、培養肉、人口卵の推進でなく、農業にこそ数兆円の予算を早急に付けるべし。

## 「生成AI 政治・行政での応用 ー自然言語処理研究の事例紹介を通じて考える」

講師：狩野芳伸氏(静岡大学情報学部 准教授)

## ■生成AIの今後

- ・商用利用可能なオープンモデルが増える
- ・画像・音声との統合が進行する
- ・Chat GPTの機能がWindows/Office (Microsoft365)にCopilot搭載された
- ・「ホワイトカラーのよくある仕事」が自動化される
- ⇒日々の業務(メール・企画書・報告書・議事録作成、スライド作成等)
- ・正確なのかは人間が出力チェックする必要があるが「下書き」「プレスト」には非常に有用

## ②2/7

## IKE・SUN PARK視察

担当：豊島区議会事務局議会総務課総務グループ 新井清士 主査

豊島区都市整備部公園緑地課 片山裕貴 課長

豊島区都市整備部公園緑地課公園活用グループ 吉澤志保 係長

■造幣局東京支局移転を契機に豊島区とURが連携して防災公園街区整備事業による防災公園区域と市街地区域が一体となったまちづくりを進めている。西側は東京北西圏ターミナル拠点である池袋駅を有する池袋副都心、東側には木造住宅密集地域が隣接しており、その立地特性を活かし、災害に強く文化と賑わいを創出する活力ある市街地の形成を図っている。3.2haの地区の中には下記が整備されている。

内 容	
<p>【防災性向上】</p> <p>1.芝生広場(約6,600㎡) ⇒一時避難場所や救援物資搬入、集配拠点として機能</p> <p>2.ヘリポート ⇒ヘリコプターに対応した耐圧路盤を整備</p> <p>3.防火樹林帯 ⇒木造住宅密集地域に面した外周部に火災の延焼を防ぐシラカシを植樹し、防火樹林帯として機能を確保</p> <p>4.非常用トイレ(イベント時は水洗トイレとして使用、断水時も使用可)、備蓄倉庫、深井戸、応急給水槽、耐震性貯水槽(常時40トン備蓄)、発電機、ソーラー電源、かまどベンチ(炊き出し用かまどが収納)、非常用公衆電話、バルーン投光器</p> <p>【にぎわい創出】</p> <p>5.カフェ(公募対象公園施設) ⇒カフェ隣接のウッドデッキを特定公園施設として整備</p> <p>6.コトポート(事業者の自主事業)</p> <p>7.ファーマーズマーケット(豊島区の自治体SDGsモデル事業・事業者の自主事業) ⇒農産物や区内の名産品等のマーケットを毎週末開催</p> <p>8.IKEBUS停留所、遊具や健康遊具等を整備 ⇒防災公園を池袋駅や池袋周辺4公園等とつなぐ</p> <p>【造幣局時代や地域の歴史の承継】</p> <p>9.造幣局遺構を活用したテーブル ⇒造幣局のマンホールをテーブルとして活用</p> <p>10.モニュメント ⇒かつての排水口をモニュメントとして活用</p> <p>【文化交流機能の誘導】</p> <p>11.東京国際大学池袋キャンパス ⇒地上22階、延床面積約35,000㎡</p>	
<p>※公園と大学隣接の0.5ha部分は豊島区がURから借地をして池袋保健所ととしまキッズパークとして暫定活用中</p>	
<p>■事業手法</p> <p>◎防災公園街区整備事業</p> <p>1.URが用地を取得するため、用地取得時に地方公共団体の負担がない</p> <p>2.地方公共団体に代わり、URが補助金を申請し、交付を受け、事業を実施</p> <p>3.一般財源部分は割賦償還できるため短期間に集中する財政負担を平準化</p> <p>◎公募設置管理制度(Park-PFI)</p> <p>飲食店等の公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用して特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を公募により選定する制度。設置管理許可期間の特例(最長20年)や建蔽率の特例(10%の上乗せ)等の特例措置が適用可能であり、民間事業者が園内で賑わい創出に資する飲食店等の事業を起こしやすい環境の醸成を図ることができる</p> <p>◎管理運営を見据えた事業実施体制の構築</p> <p>設計や施工、管理運営を行う企業で構成されるコンソーシアムを公募し、選定したコンソーシアムの構成企業との個別契約(協定)により事業を実施することで、管理運営(使われ方)を見据えた設計や施工を実現した</p>	

内 容	
■主な3つの機能	
1.一時避難場所としての機能	
・発災時、木造住宅密集地域に隣接する公園として機能 ・火災の延焼を防ぐシラカシが植樹され(防火樹林)、地震や火災発生時には、約9,000人収容可能な避難場所として機能	
・安全が確保された後は、近隣の救援センターに避難者を誘導	
2.ヘリポート機能	
・区内最大規模の公園として、ヘリポート機能を有しており、道路閉塞時には各種物資や傷病者の搬送を行う	
3.救援物資集積拠点としての機能	
・災害時に国や都、全国各地の自治体や団体等から送られてくる救援物資を本公園に集積し、区内各所の救援センター(避難所)へ搬送する	
③2/8	
大和市文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)	
担当:大和市屋内こども広場 森貴志 副館長	
株式会社図書館流通センター 南関東支社 神奈川営業部 山内賢治 部長	
■図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場を中心とした文化複合施設	
駅から徒歩圏内のワンストップ施設開設により治安改善、子育て世代からの人気上昇中。	
地域住民のみならず、近隣住民の利用者数も増加しており、本市にも応用したい。	
1F:メインホール(1007席 1階795席 2階212席)、サブホール(272席 平土間使用可)、ギャラリー(219.3㎡天井高4m 壁長114.5m)総合案内、図書館(新刊本、身近な暮らしに関する本、雑誌等、気軽に読める本が揃う、自動貸出機、蔵書検索機(OPAC))、授乳室(個室、調乳設備、おむつ交換台)、カフェ(スターバックス)、放送スタジオ(FMやま: 市政情報や地域密着情報を放送するコミュニティFMのスタジオ、災害時には災害関連情報を優先して放送)	
2F:市民交流ラウンジ(歓談、ビジネスの打合せ可、有線LAN、電源、印刷スペース有、セカンドオフィス利用可)、図書館(政治、法律、経済、教育等、社会問題に関する資料、閲覧席、自動貸出機、蔵書検索機(OPAC))、コインロッカー(110個・1回100円)、大和市役所大和連絡所、大和市イベント観光協会	
3F:げんきこ広場(3歳~小学校2年生、親子のあそびの広場、専門スタッフがポーネルドプロデュースの遊具を使い様々な遊びを提案)、ちびっこ広場(0歳~2歳の乳幼児の親子あそびの部屋)、保育室(保育士常駐、最大4時間までお預かり)、相談室(保育士)、多目的室、赤ちゃんの駅(授乳室、オムツ替え室)、こども図書館(乳幼児から児童向け)、こども読書室、おはなしのへや(絵本の読み聞かせや紙芝居、手あそび等)、こどもシアターブース(図書館のDVD視聴可)、スタジオ(大 40名;アップライトピアノ、中 5名;ドラムセット、シンセサイザー、アンプ、小 2名)、マルチスペース(小規模ピアノ発表会、合唱・楽器の練習等)	
4F:健康コーナー・健康テラス(健康に関する図書・資料の展示、健康講座等)、健康度見える化コーナー(体組成計、骨健康度測定器、電動血圧計、血管年齢測定器、脳年齢測定器は自由に利用可、測定結果を踏まえ健康、食事、運動に関する相談やアドバイスを受けられる)、メインカウンター、予約本コーナー(予約した本の貸出手続を自身で行える)、ティーンズコーナー(中高生向けの本や学校生活に関連する本が揃っている)、まんが・新聞・雑誌コーナー、シアターブース、ロボットコーナー(暮らしに役立つ様々なロボットを展示している)、読書テラス	
5F:レファレンスカウンター(専門図書館員常駐)、情報検索コーナー(商用データベース利用可)、地域資料コーナー、読書室、点字図書室、対面朗読室	
6F:市民交流スペースぶらっと大和(食事・歓談可)、講習室、大会議室(55名)、中会議室(25名)、小会議室(16~18名)、和室(22畳 24名)、調理実習室、会議室、文化創造室・会議室、印刷室、大和市役所図書・学び交流課	

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙


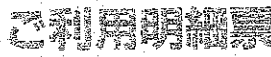
会派名	創和クラブ
整理番号	K3 - 1

項目

- 研究研修費  
  調査費  
  広報費  
  広聴費  
  要請・陳情活動費  
 会議費  
  資料作成費  
  資料購入費  
  人件費  
  事務所費

支出年月日	令和 5 年 10 月 20 日
支出額	3,110 円 (按分率 %)
支出内容	年会費 令和5年度分 (わかやまスポーツセンター 食官)

備考 3,000 + 110 = 3,110

お取引日	05-10-20	取引店番	234/12
お取引内容	振込	お取引金額	¥3,000
おつり		手数料等消費税	¥110
9:57 口座残高			
紀陽銀行 本店営業部			
普通 口座 宛先: トクヒ.ワカヤマスポーツセンターシヨウカン 様			

暗証番号の  
 おねがい  
 生年月日や電話番号など他人が知り得る番号を暗証番号に使用されているお客様は、速やかに変更ください。  
 <暗証番号はATMで簡単に変更いただけます>

ナカムラ モトヒコ 様



整理番号	L7-1
------	------

令和 5 年 10 月 5 日

### 活動報告書

創和クラブ経理責任者  
芝本 和己 様

報告者名 山本大地

下記の通り、報告します。

日 時	令和 5 年 10 月 2 日 ~ 令和 5 年 10 月 2 日 ( 0 泊 1 日 )
場 所	大阪府大阪市北区梅田1丁目2-2-600 大阪駅前第二ビル6階 (大阪公立大学文化交流センター 梅田サテライト)
目 的	全国若手議員の会 大阪研修参加への参加
内 容	<p>令和5年10月2日【研修1日目】</p> <p>①13時30分~15時30分 研修①ゲームで体感するこれからの民主主義「デモポリー」ワークショップ (講師:すなばコーポレーション代表 門川良平氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型のボードゲームのワークショップの実施</li> <li>・世の中のシステムを反映した「モノポリー」形式のボードゲーム</li> <li>・中学生や高校生を対象とした公民教育に利用できる可能性あり。</li> <li>・選挙や納税などの仕組みの理解にも活用できる。</li> <li>・詳細内容、ルール等は添付資料参照</li> <li>・クラウドファンディングで現在売り出し中</li> </ul> <p>②15時40分~16時 研修②笑い与健康・エンタメとまちづくり (講師:吉本興業株式会社副社長泉正隆氏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2011年より47都道府県住みます芸人の取組開始</li> <li>6000名の芸人の有効活用、各47組の芸人と47名の地域社員の採用</li> <li>・芸人を利用した地域活性化活動を開始</li> <li>観光産業よりスタート</li> <li>愛知県犬山市の「お笑い人力車」が好評となり全国へ形を変えて広がる。</li> <li>現在約500件の取組が行われている。</li> <li>主な取組として</li> <li>①観光振興②移住・定住促進③地域コミュニティの活性化④文化振興・教育</li> <li>⑤地域の物産開発⑥被災地復興支援</li> </ul> <p>各地域の課題に対して対応する部署があるので是非相談して欲しい。</p>

# 旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 大阪市		用 務 政務活動のため					旅行期間 10月2日		日 数 1日	
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄 道 賃			船 航 空 賃	車 賃 実費又は 定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 料	車 金 急 行 料					
										定額表利用 A0400
										合計
計		0.0	-	-	-	-	-	-	-	¥ 4,920 円

航空機利用区間

公用車等利用区間

## 請 求 書

下記のとおり請求します。

令和 5年 月 日

創和クラブ 代表者 中村 元彦 様

所 属	等級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議員	市長級	-			A0400 D1 2,280 2,640	4,920	山本 大地		
計		-	-	-	4,920	4,920	1	人	





動画セミナー 緊急開催

初歩から基礎まで  
絶対にわかる自治体財政



講師  
もり ひろゆき  
森 裕之

立命館大学政策科学部  
教授、  
博士(政策科学)

※1コマ約1時間の新規の撮りだしセミナー動画  
※パソコン等にUSBをかざすだけで動画をご覧いただけます

1 財政とは(自治体財政の基礎的な理解のために)

財政の本を読んでも、なぜわかりにくいのか。セミナーで一番聞かれる質問。行政にはお金が必要、国と自治体の関係、なぜ自治体が重要なのか、コロナで何が問題か。財政原則は公平性と民主主義、予算と決算、歳入と歳出、基本は家計と同じ、一般会計と特別会計の違い。

2 歳入の基礎編

家計の例で理解できる歳入、一般財源が財政課の一番の関心事、税金は給料、地方交付税は約束された仕送り、国庫支出金(補助金)はプラスαの支援金、地方債は住宅ローンと同じ、自治体財政は一般財源で決まる。

3 地方税の仕組みを解説

税金の種類と税率は毎年度議会で決めている、市町村と都道府県の違い。コロナでどんな影響が出るか。固定資産税、都市計画税、今後、地方消費税はどうなるの?自治体の課税自主権って何?法律にない地方税を考える。

4 地方交付税① ー本質はこれだー

地方交付税は税金とセットで考える。地方交付税は「ペットボトルとお茶」で全て理解できる、皆さんの自治体の「ペットボトルとお茶」は? 「ペットボトル」を構成している指標にはどんなものがあるのか、人口が減るとどうなるか、国は今後どうするか。

5 地方交付税② ー臨時財政対策債≡地方交付税ー

基本は「ペットボトルとお茶」、親が子どもに約束した仕送りができない?頼りになるのは親戚からの借金、最終的には親が子どもの借金を返済する、でも本当に親は子どもの借金を返済してくれるのか?過去に3000人の議員が受けた世界一簡単な交付税の解説。

6 国庫支出金(補助金)

補助金とは使い道が決められた仕送り、補助金の使い方は細かく決められている、仕様も金額も実態に合わない補助金の問題、補助金が日本の地域を金太郎船にした。時代とともに補助金が少しずつ変わってきた、自治体は補助金に左右されるが、議会としてのポイント。

7 地方債(借金の考え方と議員が抑えるべき問題点)

通常債と特例債、コロナ対応と課題。地方債はまさに住宅ローンと同じ、地方債の利点は2つ。無駄な地方債は財政破綻への道、債務負担行為はもう一つの借金、各地の事例を踏まえて解説する。財政破綻を防ぐ議会の着眼点と役割とは。

8 歳出(事業単体ではなく全体を見る重要性和近年の傾向を見る)

歳出の原則は「収入の範囲で最大の福祉を実現すること」、歳出は目的別歳出と性質別歳出の2つ。自治体財政をみる場合に重要なのは性質別歳出、歳出の各項目を理解する。人件費と物件費はセットである。特別会計との関係を捉えるには繰出金と補助費等が重要。

9 財政の黒字・赤字(財政収支の見るべきポイント)

自治体の財政はプラスマイナスなしが一番いい、基本は家計や企業と同じ、財政収支を抑える4つ。実質収支と実質単年度収支、財政破綻に至るまでには必ず「貯金」を取り崩す、人件費や借金の何が問題か。財政破綻の足音を察知する収支の効果的な使い方。

10 財政の健全性をみる指標

経常収支比率は基本的な指標、皆さんの自治体の経常収支比率はどこが問題か?健全化判断比率とその概要、健全化判断比率がクリアされていたら財政は問題ないのか?財政が健全かどうかを簡単に見るポイント、など。

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	L12 - 1

項目

- 研究研修費  
  調査費  
  広報費  
  広聴費  
  要請・陳情活動費  
 会議費  
  資料作成費  
  資料購入費  
  人件費  
  事務所費

支出年月日	令和 6 年 2 月 19 日
支出額	142,670 円 (按分率 %)
支出内容	旅費(東京・神奈川・岐阜 2/6~2/9) 受講費

備考 旅費請求内訳表 添付.

112,670+30,000=142,670

領 収 証 山本大地 様 No. \_\_\_\_\_

★ 112,670  
但 第24期自治政策特別講座 受講料として

2024年 2月 19日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税込)
	%	消費税額等

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

自治体政策学会  
会長 藤田 隆

取 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

L12-1

## 旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 東京都・大和市・川崎市・岐阜市(特別職)		用 務 政務活動調査のため				旅行期間 自 2月6日 至 2月9日		日 数 3 泊 4 日		
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄 道 賃			船 航 空 賃	車 賃 実費又は定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 料	車 金					
2/6	和歌山市 - 東京都	628.7	9,790	1,600 5,400	300 5,280					人事課計算 (23-0214)  ¥ 450,680 円
2/8	東京都 - 大和市	47.7	210 480							
2/8	大和市 - 川崎市	30.5	140 280 230							
2/9	川崎市 - 岐阜市	382.4	6,380	4,190	4,390					
2/9	岐阜市 - 和歌山市	232.4	4,070	2,800 1,600	2,530 300					
計		1,321.7	21,580	15,590	12,800	-	-	-	-	

航空機利用区間	公用車等利用区間
---------	----------

**請 求 書**  
 下記のとおり請求します。  
 和歌山市長 尾花正啓 様  
 令和6年 月 日

所 属 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議員	市長級	49,970			C3+(F1×4)	112,670	辻本 太一		
					62,700				
議員	市長級	49,970			C3+(F1×4)	112,670	林元 光広		
					62,700				
議員	市長級	49,970			C3+(F1×4)	112,670	山本 大地		
					62,700				
議員	市長級	49,970			C3+(F1×4)	112,670	中谷 謙二		
					62,700				
小計		199,880 円	- 円	- 円	250,800 円	450,680 円	4 人		

整理番号

L12-1

令和 6 年 3 月 12 日

## 活動報告書

創和クラブ経理責任者  
芝本 和己様報告者名 林元 光広  
浜田真輔 中谷謙二  
山本大地 辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 2 月 6 日 ~ 令和 6 年 2 月 8 日 (2泊3日)
場 所	①2/6,7 KFC Hall 2nd(東京都墨田区) ②2/7 IKE・SUN PARK(東京都豊島区東池袋) ③2/8 大和市文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)
目 的	①予算審議に必要な知見を得るため ②地域防災と賑わい創出視察のため ③学び、文化、子育て支援のワンストップ施設視察のため
内 容	以下の通り ①2/6 「『まち保育』のススメ 一子どもを育てる、まちが育つ」 講師:三輪律江氏(横浜市立大学大学院都市社会文化研究科 教授) ■子どもの育ち、親の育ちに必要な“群れ”と“まね”が、現代の子育ち環境には足りていない。 その解決策のひとつである「まち保育」の実践例は当市においても実践できる可能性を感じたためここに記す。 例)①公園や空き地などのまちの資源を保育に活用する⇒②まちに暮らす様々な年代の人、働く人、公園で寛ぐ人と出会い、挨拶をかわしたり会話を楽しむ⇒③子どもの活動を施設や敷地内だけで完結させず、地域の中にある安心感を得る⇒④園庭などを地域の親子が利用できるようにしたり、子育てに関する情報を提供する。敬老の日や運動会などの行事にまちの人が保育の活動に参加できる機会を創る。まちの人が集まり・出会う場になり、災害時には福祉避難所となる⇒⑤偶然の出会いを継続的なつながりに変え、交流を深める、子どもたちがまちの行事や活動に参加する。まちの人が持つ資源(まちについての知識・情報・伝承遊び・畑)が保育に活かされる⇒⑥まちに暮らす子どもや大人の生活についての相互理解が進む⇒⑦施設敷地外に出かける。公園などの目的地に向かって歩く。まちそのものを楽しみながら歩く⇒① 「自治体財政の見方やポイント 一特に歳入関係から予算書を読む」 講師:金目哲郎氏(弘前大学人文社会科学 准教授) ■予算審議のポイント 【地方税】 1.税金は確実に徴収されているか、収納率向上の取組は？ ⇒スマホ決済アプリによる収納サービス 2.法定外税の検討、課税自主権の活用 ⇒ホテル税・宿泊税・産業廃棄物税・空き家税・再生可能エネルギー地域共生促進税 【地方交付税】 3.〇〇事業は、交付税措置の対象になっているのか？ 4.国が自治体に求めるホットな政策は計上されているか、自治体独自の上乗せ計上はあるか？ ⇒地方財政計画を見れば国が自治体に何を求めているのか、ホットな政策課題がわかる

## 内 容

## 【地方債】

- 5.臨時財政対策債が安易に発行されていないか？  
 6.過疎対策事業債の発行は計画的に、特にイベント系事業に過疎債を充てる場合は慎重に議論を  
 7.建設地方債は、更新整備の必要に応じて発行を

## 【ふるさと納税】

- 8.寄附金収入（ふるさと納税）が大きすぎないか？  
 9.ふるさと納税の返礼品（歳出予算）もチェック、自治体を全国にPRするのにふさわしい地場産品か？  
 10.ふるさと納税を財源にして実施する事業の内容は適切か？

## ■歳入面の課題

- 1.国と地方の財源配分の見直し、地方消費税の拡充  
 2.交付税率の引き上げ・交付税の制度改革  
 3.交付税の算定や制度運営に自治体が参加する仕組み

## 2/7

## 「国際的な食料需給情勢と真の食料安全保障 ー政治や私たちができること」

講師：鈴木宜弘氏（東京大学大学院農学国際専攻 教授）

■日本の食料自給率はカロリーベースで38%と言われているが、種や肥料の自給率も考慮すると10%前後であり、海外からの物流が停止すると世界で最も餓死者が出る国。国内生産増強しないとならぬが、逆に国内農業は生産コスト倍増でも農産物の価格が上がらず、廃業が激増しかねない。

今だけ金だけ自分だけの日米のオトモダチ企業が国の政治を取り込み、農家や国民を収奪しようとするのを放置したら、物流が止まれば、国民の食料はなくなる。

農業の崩壊で関連産業や農協・生協も地域の政治・行政も存続できない。

今こそ、協同組合、市民組織など共同体的な力が自治体の政治・行政、心ある企業と連携して地域で奮起し、地域のうねりを国政が受け止めて国全体のうねりにする必要がある。

地域の種を守り、生産から消費まで「運命共同体」として地域循環的に農と食を支えるローカル自給圏。

1つの核は学校給食の地域公共調達。農家と住民一体化で耕作放棄地は皆で分担して耕す。

命を縮める輸入品は国産より高くつくので、消費者も流通・加工も今すぐ国産に。

輸入途絶と消費者の潮流から有機・自然栽培の方向性を視野に。

お金を出せば食料を買える時代は終焉。不測の事態に国民の命を守るのが「国防」なら、地域農業を守ることこそが安全保障。「防衛費5年で43兆円」の一方で「農業消滅」を進めたら「兵糧攻め」で日本人の餓死は現実味を帯びる。トマホークを爆買いし、コオロギ、培養肉、人口卵の推進でなく、農業にこそ数兆円の予算を早急に付けるべし。

## 「生成AI 政治・行政での応用 ー自然言語処理研究の事例紹介を通じて考える」

講師：狩野芳伸氏（静岡大学情報学部 准教授）

## ■生成AIの今後

- ・商用利用可能なオープンモデルが増える
- ・画像・音声との統合が進行する
- ・Chat GPTの機能がWindows/Office (Microsoft365) にCopilot搭載された
- ・「ホワイトカラーのよくある仕事」が自動化される
- 日々の業務（メール・企画書・報告書・議事録作成、スライド作成等）
- ・正確なのは人間が出力チェックする必要があるが「下書き」「プレスト」にしては非常に有用

## ②2/7

## IKE・SUN PARK視察

担当：豊島区議会事務局議会総務課総務グループ 新井清士 主査

豊島区都市整備部公園緑地課 片山裕貴 課長

豊島区都市整備部公園緑地課公園活用グループ 吉澤志保 係長

■造幣局東京支局移転を契機に豊島区とURが連携して防災公園街区整備事業による防災公園区域と市街地区域が一体となったまちづくりを進めている。西側は東京北西圏ターミナル拠点である池袋駅を有する池袋副都心、東側には木造住宅密集地域が隣接しており、その立地特性を活かし、災害に強く文化と賑わいを創出する活力ある市街地の形成を図っている。3.2haの地区の中には下記が整備されている。

内 容	
【防災性向上】	<p>1.芝生広場(約6,600㎡)            ⇒一時避難場所や救援物資搬入、集配拠点として機能</p> <p>2.ヘリポート            ⇒ヘリコプターに対応した耐圧路盤を整備</p> <p>3.防火樹林帯            ⇒木造住宅密集地域に面した外周部に火災の延焼を防ぐシラカシを植樹し、防火樹林帯として機能を確保</p> <p>4.非常用トイレ(イベント時は水洗トイレとして使用、断水時も使用可)、備蓄倉庫、深井戸、応急給水槽、耐震性貯水槽(常時40トン備蓄)、発電機、ソーラー電源、かまどベンチ(炊き出し用かまどが収納)、非常用公衆電話、バルーン投光器</p>
【にぎわい創出】	<p>5.カフェ(公募対象公園施設)            ⇒カフェ隣接のウッドデッキを特定公園施設として整備</p> <p>6.コトポート(事業者の自主事業)</p> <p>7.ファーマーズマーケット(豊島区の自治体SDGsモデル事業・事業者の自主事業)            ⇒農産物や区内の名産品等のマーケットを毎週末開催</p> <p>8.IKEBUS停留所、遊具や健康遊具等を整備            ⇒防災公園を池袋駅や池袋周辺4公園等とつなぐ</p>
【造幣局時代や地域の歴史の承継】	<p>9.造幣局遺構を活用したテーブル            ⇒造幣局のマンホールをテーブルとして活用</p> <p>10.モニュメント            ⇒かつての排水口をモニュメントとして活用</p>
【文化交流機能の誘導】	<p>11.東京国際大学池袋キャンパス            ⇒地上22階、延床面積約35,000㎡</p>
<p>※公園と大学隣接の0.5ha部分は豊島区がURから借地をして池袋保健所ととしまキッズパークとして暫定活用中</p>	
<p>■事業手法</p>	
<p>◎防災公園街区整備事業</p> <p>1.URが用地を取得するため、用地取得時に地方公共団体の負担がない</p> <p>2.地方公共団体に代わり、URが補助金を申請し、交付を受け、事業を実施</p> <p>3.一般財源部分は割賦償還できるため短期間に集中する財政負担を平準化</p>	
<p>◎公募設置管理制度(Park-PFI)</p> <p>飲食店等の公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用して特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を公募により選定する制度。設置管理許可期間の特例(最長20年)や建蔽率の特例(10%の上乗せ)等の特例措置が適用可能であり、民間事業者が園内で賑わい創出に資する飲食店等の事業を起こしやすい環境の醸成を図ることができる</p>	
<p>◎管理運営を見据えた事業実施体制の構築</p> <p>設計や施工、管理運営を行う企業で構成されるコンソーシアムを公募し、選定したコンソーシアムの構成企業との個別契約(協定)により事業を実施することで、管理運営(使われ方)を見据えた設計や施工を実現した</p>	



## 内 容

## ■主な3つの機能

## 1.一時避難場所としての機能

・発災時、木造住宅密集地域に隣接する公園として機能  
 ・火災の延焼を防ぐシラカシが植樹され(防火樹林)、地震や火災発生時には、約9,000人収容可能な避難場所として機能

・安全が確保された後は、近隣の救援センターに避難者を誘導

## 2.ヘリポート機能

・区内最大規模の公園として、ヘリポート機能を有しており、道路閉塞時には各種物資や傷病者の搬送を行う

## 3.救援物資集積拠点としての機能

・災害時に国や都、全国各地の自治体や団体等から送られてくる救援物資を本公園に集積し、区内各所の救援センター(避難所)へ搬送する

## ③2/8

## 大和市文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)

担当:大和市屋内こども広場 森貴志 副館長

株式会社図書館流通センター 南関東支社 神奈川営業部 山内賢治 部長

## ■図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場を中心とした文化複合施設

駅から徒歩圏内のワンストップ施設開設により治安改善、子育て世代からの人気上昇中。

地域住民のみならず、近隣住民の利用者数も増加しており、本市にも応用したい。

1F:メインホール(1007席 1階795席 2階212席)、サブホール(272席 平土間使用可)、ギャラリー(219.3㎡ 天井高4m 壁長114.5m) 総合案内、図書館(新刊本、身近な暮らしに関する本、雑誌等、気軽に読める本が揃う、自動貸出機、蔵書検索機(OPAC))、授乳室(個室、調乳設備、おむつ交換台)、カフェ(スターバックス)、放送スタジオ(FMやまと:市政情報や地域密着情報を放送するコミュニティFMのスタジオ、災害時には災害関連情報を優先して放送)

2F:市民交流ラウンジ(歓談、ビジネスの打合せ可、有線LAN、電源、印刷スペース有、セカンドオフィス利用可)、図書館(政治、法律、経済、教育等、社会問題に関する資料、閲覧席、自動貸出機、蔵書検索機(OPAC))、コインロッカー(110個・1回100円)、大和市役所大和連絡所、大和市イベント観光協会

3F:げんきっこ広場(3歳~小学校2年生、親子のあそびの広場、専門スタッフがポーネルドプロデューズの遊具を使い様々な遊びを提案)、ちびっこ広場(0歳~2歳の乳幼児の親子あそびの部屋)、保育室(保育士常駐、最大4時間までお預かり)、相談室(保育士)、多目的室、赤ちゃんの駅(授乳室、オムツ替え室)、こども図書館(乳幼児から児童向け)、こども読書室、おはなしのへや(絵本の読み聞かせや紙芝居、手あそび等)、こどもシアターブース(図書館のDVD視聴可)、スタジオ(大 40名;アップライトピアノ、中 5名;ドラムセット、シンセサイザー、アンプ、小 2名)、マルチスペース(小規模ピアノ発表会、合唱・楽器の練習等)

4F:健康コーナー・健康テラス(健康に関する図書・資料の展示、健康講座等)、健康度見える化コーナー(体組成計、骨健康度測定器、電動血圧計、血管年齢測定器、脳年齢測定器は自由に利用可、測定結果を踏まえ健康、食事、運動に関する相談やアドバイスを受けられる)、メインカウンター、予約本コーナー(予約した本の貸出手続を自身で行える)、ティーンズコーナー(中高生向けの本や学校生活に関連する本が揃っている)、まんが・新聞・雑誌コーナー、シアターブース、ロボットコーナー(暮らしに役立つ様々なロボットを展示している)、読書テラス

5F:レファレンスカウンター(専門図書館員常駐)、情報検索コーナー(商用データベース利用可)、地域資料コーナー、読書室、点字図書室、対面朗読室

6F:市民交流スペースぷらっと大和(食事・歓談可)、講習室、大会議室(55名)、中会議室(25名)、小会議室(16~18名)、和室(22畳 24名)、調理実習室、会議室、文化創造室・会議室、印刷室、大和市役所図書・学び交流課



整理番号	L12-1
------	-------

令和 6 年 3 月 12 日

## 活動報告書

創和クラブ経理責任者  
芝本 和己様

報告者名 林元光広 中谷謙二  
山本大地 辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 2 月 8 日 ~ 令和 6 年 2 月 9 日 (1泊2日)
場 所	
	①2/9 川崎市子ども夢パーク(神奈川県川崎市) ②2/9 岐阜市立草潤中学校(岐阜県岐阜市)
目 的	
	①多様な子ども達の居場所視察のため ②不登校生徒のための公立中学校視察のため
内 容	以下の通り
	<p>①2/9 川崎市子ども夢パーク(神奈川県川崎市) 担当: 認定NPO法人フリースペースたまりば 理事長 西野博之氏</p> <p>川崎市子ども夢パークは市民や子どもたちとの意見交換により、2000年12月に制定、2001年4月に施行された「川崎市子どもの権利に関する条例」を実現する施設で、2003年7月にオープン、2006年4月1日から指定管理者制度が導入され「川崎市子ども夢パーク共同運営事業体」(公益財団法人川崎市生涯学習財団と特定非営利活動法人フリースペースたまりば)が受託し、管理・運営を行っている。</p> <p>施設の特徴は循環システム型で整備するとしており、「遊ぶ」を「考える」⇔「つくる」⇔「こわす」⇔「考える」の繰り返しと考え、施設も子どもたちが安全に使用できる基本的なものだけが整備されており、その後、子どもたちが施設を使いながら自分たちで創っていくことができる「スケルトン建築様式」を採用しており、将来的に子どもたちが自分たちで増築・改築する等の多様性や可変性を確保している。</p> <p>毎月開催されている「つくりつづける会」にはスタッフ、市民、子どもたちが参加して、子どもたちの「やってみよう！」を実現するための話し合いが行われ、いろいろな大人が自らの得意を持ち寄り、子どもに関わり、見守ることで多様な子どもたちの感性を育てている。ひとりで静かに過ごしたい時に適した部屋や、バンド練習を行うスタジオ、みんなと泥遊びや水遊びを存分に楽しめるプレーパークなど、その日の気分に合った居場所をつくっており、巨大ハンモックや滑り台も大人と一緒に子どもたちがつくっている。</p> <p>同パーク内に2003年7月「フリースペースえん」も同時にオープン。同施設は、学校外で多様に育ち、学ぶ場として、主として学校の中に自分の居場所を見出せない子どもや若者たちのスペース。押しつけになるようなプログラムはなく、いつ来ていつ帰るか、どのように過ごすかは自分で決める事ができる。</p> <p>上記の指定管理料は約79,000千円で、毎年15,000千円の寄附を集めて運営している。</p> <p>年間150~200件の視察があり、海外からも受け入れているが、それは地域に子どもたちの居場所がないからであり、不登校が30万人に及び年間500人以上が、自ら命を断つという異常事態を何とか解決したいとの思いをもつ方々が答えを求めて来訪しているのであろう。</p>

## 内 容

②2/9

岐阜市立草潤中学校(岐阜県岐阜市)

担当:教頭先生

不登校生徒のための公立中学校であり、登校するかどうか、時間割も担任も生徒自身が決め、昼食を食べる場所も自ら選ぶなど「学びたいときに、学びたいところで、学びたいことを学べる学校」で、年間の授業時間数は770時間で一般校の1015時間より少な目である。授業は生配信もされており、タブレット端末を使用して、自宅や構内の別の場所で受講することも可能。他の学年の授業を受けることもできる。また、学びなおしのできる部屋もあり、小学生から中学生までの参考書や問題集が備えられており、例えば小学校の早い時期に不登校となり、漢字が読めない生徒もこの部屋で自分のペースで漢字の勉強に取り組むこともできる。また、図書室にはテントが張っており、その中に入ることで集中して読書をすることもできる。陶芸や木工ができる部屋もあり、プロ並みの腕前を持つ生徒が創作活動に没頭していた。

このような多様な取り組みが、公立の中学校でおこなわれていることは先進的であり、本市においても同様の対応ができないか検討したい。

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	M8 - 1

項目

- 研究研修費  
  調査費  
  広報費  
  広聴費  
  要請・陳情活動費  
 会議費  
  資料作成費  
  資料購入費  
  人件費  
  事務所費

支出年月日	令和 6 年 1 月 31 日
支出額	72,740 円 (按分率 ( %))
支出内容	旅費 (研修 1/25 ~ 26 春日市 博多市)

備考 旅費請求内訳表は別途添付

整理番号

M8-1

令和 6 年 1 月 31 日

## 活動報告書

創和クラブ経理責任者  
芝本 和己 様

報告者名 林元光広

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 1 月 25 日 ~ 令和 6 年 1 月 26 日 ( 1 泊 2 日 )
場 所	①九州大学筑紫キャンパス グローバルイノベーションセンター ②みなと100年公園
目 的	洋上風力の活用と自治体における可能性を探るため
内 容	<p>①テーマ:「九州大学洋上風力研究教育センターの取組みについて」 講 師:古川勝彦氏(同センター副センター長) 我が国は40年以上前から風力発電システムを自ら開発してきたが、2019年には主要な大手企業はほぼ撤退した。撤退理由は、我が国の風況の過酷さ、設置に伴う調整が困難、国内市場の限界がある。2020年12月洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会(経産省・国交省)が「洋上風力産業ビジョン(第1次)」を発表。 現状、洋上風力産業の多くは国外に立地しているが、日本にも潜在力のあるサプライヤーは存在。しかしながら、日本特有の過酷な風況及び社会環境の課題は残されたまま、海外で製造された洋上風車の導入が進んでいる。 そんな中で「九州大学ビジョン2030」に基づき社会変革を起こすべく、ハード及びソフトウェアの開発により、研究・教育→産学官・学際連携→実証→実装・展望を行っている。 具体的には日本の風況に合った中型レンズ風車の開発と実用化を進めており、また、我が国沿海の海況に合った浮体の開発を行っている。 一方で人材育成は遅れており、我が国ではまだ未成熟な分野であるため、学生の多くは卒業後の進路に風力を選択しないため、今後の課題である。</p> <p>②平成23(2011)年12月4日に環境省事業「博多湾浮体式海上風力発電の実証実験」で博多湾に設置された六角形のコンクリート製浮体と九州大学が独自に開発した高効率の3kWレンズ風車2基と2kW太陽光パネル(8kWの小型浮島エネルギーファーム)を見学したが、実験が行われたのは、もう少し沖の方で、国からの研究費には維持管理や撤去に伴う費用は含まれておらず、実験事業終了後は漁協が譲り受け、現在の多々良川河口に移設、現在は牡蠣の養殖にも活用されている。洋上風力発電所は、魚の漁礁になるものの、漁師からは網が引けない等、邪魔になりがちだが、漁師の高齢化が進み、漁業が衰退している港湾であれば、洋上風力の候補地としては有力になる。</p> <p>口所感 海外製の巨大風車を使用した洋上風力と異なり、騒音や振動の問題、人体や動植物、生態系、漁業への影響が限定的であり、再生可能エネルギーの中では選択肢のひとつとして検討に値すると思われ、内製できれば、アジアへの輸出展開の可能性も見込め、経済効果も期待できる。 あとひとつクリアしなければならないのは、洋上で発電できた電力をどのように陸地へ繋げるのかという課題がある。</p>

## 旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 春日市、福岡市(特別職)		用 務 政務活動のため				旅行期間 自 1月25日 至 1月26日		日 数 1泊2日		
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄 道 賃			船 賃 航空 賃	車 賃 実費又 は定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 車 料	急 行 料					
	和歌山市 春日市	706.3	10,370	1,300 6,600	600 5,700					人事課計算 (23-0189)
	春日市 福岡市	9.5	320							
	福岡市 和歌山市	700.9	210 10,340	6,600 1,300	5,700 600					
計		715.8	21,240	15,800	12,600	-	-			合計 ¥ 72,740 円

航空機利用区間

公用車等利用区間

### 請 求 書

下記のとおり請求します。

令和 年 月 日

創和クラブ 代表者 中村 元彦 様

所 属 職 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議 員	市長級	49,640			C1+(F1*2)	72,740	林元 光広		
					23,100				
計		49,640 円	- 円	- 円	23,100 円	72,740 円	1	人	

■九州ブロック研修会（1月25日開催）について

龍馬プロジェクト九州ブロックでは、洋上風力発電による地域振興の可能性について、実際の現場を見学しながら学ぶツアーを計画しています。

洋上風力発電は、脱炭素を掲げる世界の潮流に合わせ、日本政府が切り札としている発電方法です。

地方自治体においては、洋上風力発電による地域振興が期待されており、漁業との共存や、地域産業の育成など、様々な取り組みが行われています。

このツアーでは、洋上風力発電を巡る最新の情報を学ぶだけでなく、実際に導入事例を見学し、地域振興について学ぶことができます。

ぜひ、この機会に洋上風力発電について学び、地方自治の発展につなげていただければ幸いです。

○ 内容

『洋上風力の活用と自治体における可能性』

期間 1/25～1/26

○ スケジュール

1/25

13:30 受付

14:00～16:00 座学(質疑応答含む)

【洋上風力発電に関する講義】

講師：古川勝彦教授 洋上風力研究教育センター 副センター長【渉外担当】

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000040264121/>

◎国立大学法人九州大学 筑紫キャンパス

〒816-0811 福岡県春日市春日公園6丁目1

福岡市中心部に移動(約1時間所要)

18:00 懇親会

※博多駅周辺、会費 6,000 円(実費)

1/26

10:00～ 洋上風力現地視察

株式会社リアムウインド社

<https://riamwind.co.jp/>

@みなと100年公園

〒813-0018 福岡県福岡市東区香椎浜ふ頭1丁目1

11:00 終了・解散

【参加費】

全て参加：2,000円

どちらか1日のみ：1,000円

注意事項

- ・宿泊地は自身で確保をお願いします。※博多駅周辺が動きやすいです
- ・車での移動が発生します。

○ 問い合わせ先

龍馬プロジェクト九州ブロック長

〒812-0001 福岡県福岡市東区香椎浜ふ頭1丁目1

TEL: 092-281-1111

\*\*\*\*\*

+++

【お問い合わせ先】

龍馬プロジェクト全国会 総務局

メール：[info.ryomapj@gmail.com](mailto:info.ryomapj@gmail.com)

政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	M9 - 1

項目

- 研究研修費  
  調査費  
  広報費  
  広聴費  
  要請・陳情活動費  
 会議費  
  資料作成費  
  資料購入費  
  人件費  
  事務所費

支出年月日

令和 6 年 2 月 19 日

支出額

142,670 円 (按分率 %) )

支出内容

旅費(東京・神奈川・岐阜 2/6~2/9)  
受講費

備考 旅費請求内訳表 添付

$112,670 + 30,000 = 142,670$

領 収 証

林元 光広 様

No. \_\_\_\_\_

★

但 第24期自治政策特別講座 受講料として

2024年 2月 6日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税込)
	%	消費税額等

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

自治体議会政策等  
会長

取 入  
印 紙



## 旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 東京都・大和市・川崎市・岐阜市(特別職)		用 務 政務活動調査のため				旅行期間 自 2月6日 至 2月9日		日 数 3 泊 4 日		
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄 道 賃			船 空 賃	車 賃 実費又は 定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 料 特 両	車 金 急 行 料					
2/6	和歌山市 - 東京都	628.7	9,790	1,600 5,400	300 5,280					人事課計算 (23-0214)
2/8	東京都 - 大和市	47.7	210 480							
2/8	大和市 - 川崎市	30.5	140 280 230							
	川崎市 - 岐阜市	382.4	6,380	4,190	4,390					
2/9	岐阜市 - 和歌山市	232.4	4,070	2,800 1,600	2,530 300					
計		1,321.7	21,580	15,590	12,800	-	-	-	-	¥ 450,680 円

航空機利用区間

公用車等利用区間

### 請 求 書

下記のとおり請求します。

令和6年 月 日

和歌山市長 尾花正啓 様

所 属 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議 員	市長級	49,970			C3+(F1×4)	112,670	辻本 太一		
					62,700				
議 員	市長級	49,970			C3+(F1×4)	112,670	林元 光広		
					62,700				
議 員	市長級	49,970			C3+(F1×4)	112,670	山本 大地		
					62,700				
議 員	市長級	49,970			C3+(F1×4)	112,670	中谷 謙二		
					62,700				
小 計		199,880 円	-	-	250,800 円	450,680 円	4 人		

整理番号	M9-1
------	------

令和 6 年 3 月 12 日

## 活動報告書

創和クラブ経理責任者  
芝本 和己様

報告者名 林元 光広  
濱田真輔 中谷謙二  
山本大地 辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 2 月 6 日 ~ 令和 6 年 2 月 8 日 (2泊3日)
場 所	①2/6,7 KFC Hall 2nd(東京都墨田区) ②2/7 IKE・SUN PARK(東京都豊島区東池袋) ③2/8 大和市文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)
目 的	①予算審議に必要な知見を得るため ②地域防災と賑わい創出視察のため ③学び、文化、子育て支援のワンストップ施設視察のため
内 容	以下の通り ①2/6 『『まち保育』のススメ 一子どもを育てる、まちが育つ』 講師:三輪律江氏(横浜市立大学大学院都市社会文化研究科 教授) ■子どもの育ち、親の育ちに必要な“群れ”と“まね”が、現代の子育ち環境には足りていない。 その解決策のひとつである「まち保育」の実践例は当市においても実践できる可能性を感じたためここに記す。 例)①公園や空き地などのまちの資源を保育に活用する⇒②まちに暮らす様々な年代の人、働く人、公園で寛ぐ人と出会い、挨拶をかわしたり会話を楽しむ⇒③子どもの活動を施設や敷地内だけで完結させず、地域の中にある安心感を得る⇒④園庭などを地域の親子が利用できるようにしたり、子育てに関する情報を提供する。敬老の日や運動会などの行事にまちの人が保育の活動に参加できる機会を創る。まちの人が集まり・出会う場になり、災害時には福祉避難所となる⇒⑤偶然の出会いを継続的なつながりに変え、交流を深める、子どもたちがまちの行事や活動に参加する。まちの人が持つ資源(まちについての知識・情報・伝承遊び・畑)が保育に活かされる⇒⑥まちに暮らす子どもや大人の生活についての相互理解が進む⇒⑦施設敷地外に出かける。公園などの目的地に向かって歩く。まちそのものを楽しみながら歩く⇒①  『自治体財政の見方やポイント 一特に歳入関係から予算書を読む』 講師:金目哲郎氏(弘前大学人文社会科学 准教授) ■予算審議のポイント 【地方税】 1.税金は確実に徴収されているか、収納率向上の取組は? ⇒スマホ決済アプリによる収納サービス 2.法定外税の検討、課税自主権の活用 ⇒ホテル税・宿泊税・産業廃棄物税・空き家税・再生可能エネルギー地域共生促進税 【地方交付税】 3.〇〇事業は、交付税措置の対象になっているのか? 4.国が自治体に求めるホットな政策は計上されているか、自治体独自の上乗せ計上はあるか? ⇒地方財政計画を見れば国が自治体に何を求めているのか、ホットな政策課題がわかる

## 内 容

## 【地方債】

5. 臨時財政対策債が安易に発行されていないか？
6. 過疎対策事業債の発行は計画的に、特にイベント系事業に過疎債を充てる場合は慎重に議論を
7. 建設地方債は、更新整備の必要に応じて発行を

## 【ふるさと納税】

8. 寄附金収入（ふるさと納税）が大きすぎないか？
9. ふるさと納税の返礼品（歳出予算）もチェック、自治体を全国にPRするのにふさわしい地場産品か？
10. ふるさと納税を財源にして実施する事業の内容は適切か？

## ■歳入面の課題

1. 国と地方の財源配分の見直し、地方消費税の拡充
2. 交付税率の引き上げ・交付税の制度改革
3. 交付税の算定や制度運営に自治体が参加する仕組み

## 2/7

## 「国際的な食料需給情勢と真の食料安全保障 ー政治や私たちができること」

講師：鈴木宣弘氏（東京大学大学院農学国際専攻 教授）

■日本の食料自給率はカロリーベースで38%と言われているが、種や肥料の自給率も考慮すると10%前後であり、海外からの物流が停止すると世界で最も餓死者が出る国。国内生産増強しないとならぬが、逆に国内農業は生産コスト倍増でも農産物の価格が上がらず、廃業が激増しかねない。

今だけ金だけ自分だけの日米のオトモダチ企業が国の政治を取り込み、農家や国民を収奪しようとするのを放置したら、物流が止まれば、国民の食料はなくなる。

農業の崩壊で関連産業や農協・生協も地域の政治・行政も存続できない。

今こそ、協同組合、市民組織など共同体的な力が自治体の政治・行政、心ある企業と連携して地域で奮起し、地域のうねりを国政が受け止めて国全体のうねりにする必要がある。

地域の種を守り、生産から消費まで「運命共同体」として地域循環的に農と食を支えるローカル自給圏。

1つの核は学校給食の地域公共調達。農家と住民一体化で耕作放棄地は皆で分担して耕す。

命を縮める輸入品は国産より高くつくので、消費者も流通・加工も今すぐ国産に。

輸入途絶と消費者の潮流から有機・自然栽培の方向性を視野に。

お金を出せば食料を買う時代は終焉。不測の事態に国民の命を守るのが「国防」なら、地域農業を守ることこそが安全保障。「防衛費5年で43兆円」の一方で「農業消滅」を進めたら「兵糧攻め」で日本人の餓死は現実味を帯びる。トマホークを爆買いし、コオロギ、培養肉、人口卵の推進でなく、農業にこそ数兆円の予算を早急に付けるべし。

## 「生成AI 政治・行政での応用 ー自然言語処理研究の事例紹介を通じて考える」

講師：狩野芳伸氏（静岡大学情報学部 准教授）

## ■生成AIの今後

- ・商用利用可能なオープンモデルが増える
- ・画像・音声との統合が進行する
- ・Chat GPTの機能がWindows/Office (Microsoft365)にCopilot搭載された
- ・「ホワイトカラーのよくある仕事」が自動化される
- ⇒日々の業務（メール・企画書・報告書・議事録作成、スライド作成等）
- ・正確なのかは人間が出力チェックする必要があるが「下書き」「プレスト」にしては非常に有用

## ②2/7

## IKE・SUN PARK視察

担当：豊島区議会事務局議会総務課総務グループ 新井清士 主査

豊島区都市整備部公園緑地課 片山裕貴 課長

豊島区都市整備部公園緑地課公園活用グループ 吉澤志保 係長

■造幣局東京支局移転を契機に豊島区とURが連携して防災公園街区整備事業による防災公園区域と市街地区域が一体となったまちづくりを進めている。西側は東京北西圏ターミナル拠点である池袋駅を有する池袋副都心、東側には木造住宅密集地域が隣接しており、その立地特性を活かし、災害に強く文化と賑わいを創出する活力ある市街地の形成を図っている。3.2haの地区の中には下記が整備されている。

内 容	
<p><b>【防災性向上】</b></p> <p>1.芝生広場(約6,600㎡) ⇒一時避難場所や救援物資搬入、集配拠点として機能</p> <p>2.ヘリポート ⇒ヘリコプターに対応した耐圧路盤を整備</p> <p>3.防火樹林帯 ⇒木造住宅密集地域に面した外周部に火災の延焼を防ぐシラカシを植樹し、防火樹林帯として機能を確保</p> <p>4.非常用トイレ(イベント時は水洗トイレとして使用、断水時も使用可)、備蓄倉庫、深井戸、応急給水槽、耐震性貯水槽(常時40トン備蓄)、発電機、ソーラー電源、かまどベンチ(炊き出し用かまどが収納)、非常用公衆電話、バルーン投光器</p> <p><b>【にぎわい創出】</b></p> <p>5.カフェ(公募対象公園施設) ⇒カフェ隣接のウッドデッキを特定公園施設として整備</p> <p>6.コトポート(事業者の自主事業)</p> <p>7.ファーマーズマーケット(豊島区の自治体SDGsモデル事業・事業者の自主事業) ⇒農産物や区内の名産品等のマーケットを毎週末開催</p> <p>8.IKEBUS停留所、遊具や健康遊具等を整備 ⇒防災公園を池袋駅や池袋周辺4公園等とつなぐ</p> <p><b>【造幣局時代や地域の歴史の承継】</b></p> <p>9.造幣局遺構を活用したテーブル ⇒造幣局のマンホールをテーブルとして活用</p> <p>10.モニュメント ⇒かつての排水口をモニュメントとして活用</p> <p><b>【文化交流機能の誘導】</b></p> <p>11.東京国際大学池袋キャンパス ⇒地上22階、延床面積約35,000㎡</p>	<p>※公園と大学隣接の0.5ha部分は豊島区がURから借地をして池袋保健所としまキッズパークとして暫定活用中</p> <p>■事業手法</p> <p>◎防災公園街区整備事業</p> <p>1.URが用地を取得するため、用地取得時に地方公共団体の負担がない</p> <p>2.地方公共団体に代わり、URが補助金を申請し、交付を受け、事業を実施</p> <p>3.一般財源部分は割賦償還できるため短期間に集中する財政負担を平準化</p> <p>◎公募設置管理制度(Park-PFI)</p> <p>飲食店等の公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用して特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を公募により選定する制度。設置管理許可期間の特例(最長20年)や建蔽率の特例(10%の上乗せ)等の特例措置が適用可能であり、民間事業者が園内で賑わい創出に資する飲食店等の事業を起こしやすい環境の醸成を図ることができる</p> <p>◎管理運営を見据えた事業実施体制の構築</p> <p>設計や施工、管理運営を行う企業で構成されるコンソーシアムを公募し、選定したコンソーシアムの構成企業との個別契約(協定)により事業を実施することで、管理運営(使われ方)を見据えた設計や施工を実現した</p>

内 容	
<p><b>■主な3つの機能</b></p>	
<p>1.一時避難場所としての機能</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発災時、木造住宅密集地域に隣接する公園として機能</li> <li>・火災の延焼を防ぐシラカシが植樹され(防火樹林)、地震や火災発生時には、約9,000人収容可能な避難場所として機能</li> <li>・安全が確保された後は、近隣の救援センターに避難者を誘導</li> </ul>	
<p>2.ヘリポート機能</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内最大規模の公園として、ヘリポート機能を有しており、道路閉塞時には各種物資や傷病者の搬送を行う</li> </ul>	
<p>3.救援物資集積拠点としての機能</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に国や都、全国各地の自治体や団体等から送られてくる救援物資を本公園に集積し、区内各所の救援センター(避難所)へ搬送する</li> </ul>	
<p>③2/8</p>	
<p>大和市文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)</p>	
<p>担当:大和市屋内こども広場 森貴志 副館長</p>	
<p>株式会社図書館流通センター 南関東支社 神奈川営業部 山内賢治 部長</p>	
<p><b>■図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場を中心とした文化複合施設</b> 駅から徒歩圏内のワンストップ施設開設により治安改善、子育て世代からの人気上昇中。</p>	
<p>地域住民のみならず、近隣住民の利用者数も増加しており、本市にも応用したい。</p>	
<p>1F:メインホール(1007席 1階795席 2階212席)、サブホール(272席 平土間使用可)、ギャラリー(219.3㎡ 天井高4m 壁長114.5m)総合案内、図書館(新刊本、身近な暮らしに関する本、雑誌等、気軽に読める本が揃う、自動貸出機、蔵書検索機(OPAC))、授乳室(個室、調乳設備、おむつ交換台)、カフェ(スターバックス)、放送スタジオ(FMやまと: 市政情報や地域密着情報を放送するコミュニティFMのスタジオ、災害時には災害関連情報を優先して放送)</p>	
<p>2F: 市民交流ラウンジ(歓談、ビジネスの打合せ可、有線LAN、電源、印刷スペース有、セカンドオフィス利用可)、図書館(政治、法律、経済、教育等、社会問題に関する資料、閲覧席、自動貸出機、蔵書検索機(OPAC))、コインロッカー(110個・1回100円)、大和市役所大和連絡所、大和市イベント観光協会</p>	
<p>3F: げんきこ広場(3歳~小学校2年生、親子のあそびの広場、専門スタッフがポーネルドプロデュースの遊具を使い様々な遊びを提案)、ちびっこ広場(0歳~2歳の乳幼児の親子あそびの部屋)、保育室(保育士常駐、最大4時間までお預かり)、相談室(保育士)、多目的室、赤ちゃんの駅(授乳室、オムツ替え室)、こども図書館(乳幼児から児童向け)、こども読書室、おはなしのへや(絵本の読み聞かせや紙芝居、手あそび等)、こどもシアターブース(図書館のDVD視聴可)、スタジオ(大 40名;アップライトピアノ、中 5名;ドラムセット、シンセサイザー、アンプ、小 2名)、マルチスペース(小規模ピアノ発表会、合唱・楽器の練習等)</p>	
<p>4F: 健康コーナー・健康テラス(健康に関する図書・資料の展示、健康講座等)、健康度見える化コーナー(体組成計、骨健康度測定器、電動血圧計、血管年齢測定器、脳年齢測定器は自由に利用可、測定結果を踏まえ健康、食事、運動に関する相談やアドバイスを受けられる)、メインカウンター、予約本コーナー(予約した本の貸出手続を自身で行える)、ティーンズコーナー(中高生向けの本や学校生活に関連する本が揃っている)、まんが・新聞・雑誌コーナー、シアターブース、ロボットコーナー(暮らしに役立つ様々なロボットを展示している)、読書テラス</p>	
<p>5F: レファレンスカウンター(専門図書館員常駐)、情報検索コーナー(商用データベース利用可)、地域資料コーナー、読書室、点字図書室、対面朗読室</p>	
<p>6F: 市民交流スペースぷらっと大和(食事・歓談可)、講習室、大会議室(55名)、中会議室(25名)、小会議室(16~18名)、和室(22畳 24名)、調理実習室、会議室、文化創造室・会議室、印刷室、大和市役所図書・学び交流課</p>	

整理番号	M9-1
------	------

令和 6 年 3 月 12 日

## 活動報告書

創和クラブ経理責任者  
芝本 和己様

報告者名 林元光広 中谷謙二  
山本大地 辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 2 月 8 日 ~ 令和 6 年 2 月 9 日 (1泊2日)
場 所	①2/9 川崎市子ども夢パーク(神奈川県川崎市) ②2/9 岐阜市立草澗中学校(岐阜県岐阜市)
目 的	①多様な子ども達の居場所視察のため ②不登校生徒のための公立中学校視察のため
内 容	以下の通り <p>①2/9 川崎市子ども夢パーク(神奈川県川崎市) 担当: 認定NPO法人フリースペースたまりば 理事長 西野博之氏</p> <p>川崎市子ども夢パークは市民や子どもたちとの意見交換により、2000年12月に制定、2001年4月に施行された「川崎市子どもの権利に関する条例」を実現する施設で、2003年7月にオープン、2006年4月1日から指定管理者制度が導入され「川崎市子ども夢パーク共同運営事業体」(公益財団法人川崎市生涯学習財団と特定非営利活動法人フリースペースたまりば)が受託し、管理・運営を行っている。</p> <p>施設の特徴は循環システム型で整備するとしており、「遊ぶ」を「考える」⇔「つくる」⇔「こわす」⇔「考える」の繰り返しと考え、施設も子どもたちが安全に使用できる基本的なものだけが整備されており、その後、子どもたちが施設を使いながら自分たちで創っていくことができる「スケルトン建築様式」を採用しており、将来的に子どもたちが自分たちで増築・改築する等の多様性や可変性を確保している。</p> <p>毎月開催されている「つくりつづける会」にはスタッフ、市民、子どもたちが参加して、子どもたちの「やってみよう！」を実現するための話し合いが行われ、いろいろな大人が自らの得意を持ち寄り、子どもに関わり、見守ることで多様な子どもたちの感性を育てている。ひとりで静かに過ごしたい時に適した部屋や、バンド練習を行うスタジオ、みんなと泥遊びや水遊びを存分に楽しめるプレーパークなど、その日の気分に合った居場所をつくっており、巨大ハンモックや滑り台も大人と一緒に子どもたちがつくっている。</p> <p>同パーク内に2003年7月「フリースペースえん」も同時にオープン。同施設は、学校外で多様に育ち、学ぶ場として、主として学校の中に自分の居場所を見出せない子どもや若者たちのスペース。押しつけになるようなプログラムはなく、いつ来ていつ帰るか、どのように過ごすかは自分で決める事ができる。</p> <p>上記の指定管理料は約79,000千円で、毎年15,000千円の寄附を集めて運営している。</p> <p>年間150~200件の視察があり、海外からも受け入れているが、それは地域に子どもたちの居場所がないからであり、不登校が30万人に及び年間500人以上が、自ら命を断つという異常事態を何とか解決したいとの思いをもつ方々が答えを求めて来訪しているのである。</p>

## 内 容

②2/9

岐阜市立草潤中学校(岐阜県岐阜市)

担当:教頭先生

不登校生徒のための公立中学校であり、登校するかどうか、時間割も担任も生徒自身が決め、昼食を食べる場所も自ら選ぶなど「学びたいときに、学びたいところで、学びたいことを学べる学校」で、年間の授業時間数は770時間で一般校の1015時間より少な目である。授業は生配信もされており、タブレット端末を使用して、自宅や構内の別の場所で受講することも可能。他の学年の授業を受けることもできる。また、学びなおしのできる部屋もあり、小学生から中学生までの参考書や問題集が備えられており、例えば小学校の早い時期に不登校となり、漢字が読めない生徒もこの部屋で自分のペースで漢字の勉強に取り組むこともできる。また、図書室にはテントが張っており、その中に入ること集中して読書をすることもできる。陶芸や木工ができる部屋もあり、プロ並みの腕前を持つ生徒が創作活動に没頭していた。

このような多様な取り組みが、公立の中学校でおこなわれていることは先進的であり、本市においても同様の対応ができないか検討したい。





# 旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 さいたま市、東京都 (特別職)		用 務 政務活動のため				旅行期間 自 11月13日 至 11月14日		日 数 1 泊 2 日		
月 日	旅行経路	路 程 km	鉄 道 賃			船 空 賃 航空賃	車 賃 又は定額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 料 両 車 金	急 行 料					
11/13	和歌山市 - さいたま市	652.9	9,000	1,300 5,400	600 5,280					人事課計算 (23-0126)
11/13	さいたま市 - 東京都	24.2	9,000							
11/14	東京都 - 和歌山市	628.7		5,280 1,300	5,280 600					
計		1,305.8	18,000	13,280	11,760	-	-	-	-	¥ 66,140 円

航空機利用区間

公用車等利用区間



## 請 求 書

下記のとおり請求します。

令和 5 年 月 日

創和クラブ 代表者

中村 元彦 様

所 属 職 位	職 務 の 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議員	市長級	43,040			C1+F1 * 2	66,140	辻本 太一		
					23,100				
計		43,040 円	- 円	- 円	23,100 円	66,140 円	1	人	

整理番号

N7-1

令和 5 年 12 月 5 日

## 活動報告書

創和クラブ経理責任者  
芝本 和己様

報告者名 辻本太一

下記の通り、報告します。

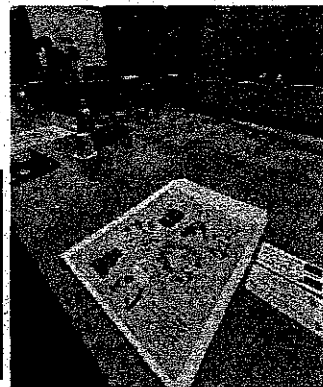
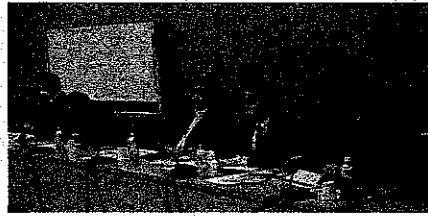
日 時	令和 5 年 11 月 13 日 ~ 令和 5 年 11 月 14 日 ( 1 泊 2 日 )
場 所	11/13 さいたま市(さいたま市スポーツ文化局スポーツ部スポーツ政策室) 11/14 東京都(文化庁東京庁舎)
目 的	11/13 スポーツ振興・全国大会誘致について他都市の事例を学ぶため。 11/14 和歌山城の活用方法を検討するにあたり文化庁の見解を伺うため。
内 容	<p>2023/11/13</p> <p>さいたま市スポーツ文化局スポーツ部スポーツ政策室の池田主幹、一般社団法人さいたまスポーツコミッションの中島経営管理課長より【さいたまスポーツコミッション】についてお話を伺う。さいたま市に集積するスポーツ資源について、プロサッカーチームが2チーム、バスケットチーム・卓球チーム・自転車ロードレースチームが各1チーム存在し、競技場としても埼玉スタジアム・さいたまスーパーアリーナの2つが存在する。さいたまスポーツコミッションとは、「スポーツ」で地域経済を活性化する推進エンジンとなる組織であり、さいたま市の都市戦略の下、2011年10月に全国に先駆けて設立されたもの。近年、スポーツの「成長産業化」の流れが高まり、都市間競争の激化や事業環境の変化、また大会誘致の助成金等からなる事業予算は公費に大きく依存している課題があり、環境変化に柔軟に対応し、より戦略的で機動的な取り組みを可能とするため、民間企業と連携体制や施設の運営・管理業務の受託など新たな収益事業モデルの構築することにより、自主財源を確保し、組織の自立を期待して、2018年12月に一般社団法人として法人化された。スポーツを核に複合的な事業展開で自主財源を確保し、地域住民に求められる公共的なスポーツサービスを提供し、地域への経済効果も創出する「ハイブリッド型事業体」をモデルを具現化しようと取り組んでいる。</p> <p>さいたま市とスポーツコミッションを連携協力させることにより、より柔軟な対応ができ、市は公益的 事業への補助、議会や国、団体との折衝に取り組み、スポーツコミッションは対象や内容を絞った収 益事業、時機に応じた柔軟な予算運用、と市とスポーツコミッションの住み分けを行っている。</p> <p>スポーツコミッションでは積極的に大会誘致を行っており、「関東平野の中心」という優れた交通アク セス、多様なニーズにお答えする施設の存在などをPRし、2013年度以降関東・東日本レベルの大 会が年々増加傾向にある状況がみられる。</p> <p>また、自主事業のスポーツイベントも積極的に行っている。具体的には、ツール・ド・フランスさい たまアクテリウムという、世界最高峰のサイクルロードレース「ツール・ド・フランス」の名を冠した自転車 競技イベントで、世界で活躍するスーパースター達がさいたま市に集結し、熱戦が繰り広げられてい る。この事業の誘致は現市長が直接フランスへ訪問し、話を決めてきたとのこと。事業費は約5億、そ のうち約1億を市から負担金として支出している。自転車の保有率が日本一の都市であることから 影響があり、自転車関係のイベントに関心がある市民性であると考えられる。</p>

## 内 容

また、身近な事業としては自転車乗り方教室というものがあり、プロロードレーサーが子供たちに自転車の乗り方を教えることにより魅力を伝え、子供の成長を促すとともに、将来にわたる自転車利用を推進し、スポーツ振興及び自転車文化の醸成を図るよう取り組んでいる。

さらには、受託事業として、JFAなでしこひろばinスマイルプロジェクト2023やバスケットファンプロジェクト2022、アーバンスポーツ活性化事業などとトッププレイヤーを育てるばかりでなく、スポーツを気がすり楽しみ、スポーツの体験機会の創出、市民スポーツの実施率の向上および地域住民の交流創出に向けて「初心者向け」の事業も実施され、市民のスポーツ意識の醸造が図られている。さいたま市のみならず、省庁事業を多く受託しており、その秘訣は、スピード感と柔軟さとのこと。市行政ではうまく回らないことも、市と切り離れた組織だからこそそのメリットを大いに活かした取り組みが行われている。

2011年の発足以来、2022年までの間での経済効果(推計)の総合計は約719億円にもなっており、さいたまスポーツコミッションが効果的に事業として働いていると考えられる。



2023/11/14

## 文化庁

春田鳩磨 文化庁文化資源活用課課長補佐、田中 佳幹 文化庁文化財第二課課長補佐  
浅野 啓介 文化庁文化財第二課史跡部門調査官(オンライン参加)、三木 直樹 文化庁参事官(文化拠点担当)付参事官補佐、安藤謙 文化庁参事官(文化点担当)付文化観光推進係長の方々に和歌山城の観光・スポーツ的活用の範囲や具体的な方法をお伺いする。

こちらからの質問を一問一答形式でお答えいただく。内容は個別例が多かったものの、共通して、和歌山城活用にあたる文化庁のスタンスや和歌山市での裁量権のお話を伺う。

文化庁は基本的に史跡に指定された和歌山城を往時の姿に復元するというスタンスをとっている。そのため、往時の姿とかけ離れた建造物やその当時になかったものの建設は認められない。例えば、和歌山城吹上口について、和歌山城の現状は駐車場が少なく、吹上口の一部を駐車場にすることはできるかという質問が出た。往時の姿では、吹上口には「枡形虎口」が位置しており、文化庁としてはその往時の姿を復元してほしいため、駐車場にすることは難しいという回答であった。しかし、少し論点を換え、「枡形虎口」を復元するにも、現状予算がない。そんな段階で、数十年後に「枡形虎口」の再建を目指し、今駐車場という形でその予算を稼ぐのはどうかという質問に変形し伺う。回答は、今までその論点・視点はなく、検討の余地があるとのことである。今回の文化庁への訪問で明らかになったことは、和歌山市が、しっかりとした理論や理屈、往時の姿はこうだけれど現状このような問題があり、それを解決し往時の姿へ戻すというビジョンや論理が備わっていれば、文化庁も頭ごなしに何もかも却下するわけではなく、検討・相談に応じてくれることが判明した。今後も和歌山城整備企画課とともに、新たな和歌山城のビジョンを考え、文化庁を巻き込み、今回の訪問を和歌山市の発展へ寄与させていきたい。



政務活動費支出調書兼領収書等貼付用紙

会派名	創和クラブ
整理番号	N 8 - 1

項目

- 研究研修費  
  調査費  
  広報費  
  広聴費  
  要請・陳情活動費  
 会議費  
  資料作成費  
  資料購入費  
  人件費  
  事務所費

支出年月日	令和 6 年 2 月 19 日
支出額	142,670 円 (按分率 %)
支出内容	旅費(東京・神奈川・岐阜 2/6~2/9) 受講費

備考 旅費請求内訳表添付

$112,670 + 30,000 = 142,670$

領収証

辻本 太一 様 No. \_\_\_\_\_

★ 750,000-

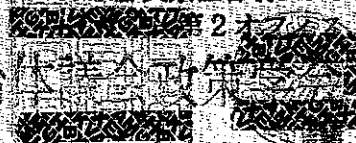
但 第24期自治政策特別講座 受講料として

2024年 2月 6日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等

〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

自治政策  
会長



収入  
印紙

コクヨ ウケ-1087

N8-1

## 旅 費 請 求 内 訳 表

旅行先 東京都・大和市・川崎市・岐阜市(特別職)		用務 政務活動調査のため				旅行期間 自 2月6日 至 2月9日		日数 3泊 4日		
月日	旅行経路	路程 km	鉄 道 賃			船 航 空 賃	車 賃 又 は 定 額	日 当	宿 泊 料	摘 要
			運 賃	特 別 料	車 金 急 行 料					
2/6	和歌山市 - 東京都	628.7	9,790	1,600 5,400	300 5,280					人事課計算 (23-0214)  ¥ 450,680 円
2/8	東京都 - 大和市	47.7	210 480							
2/8	大和市 - 川崎市	30.5	140 280 230							
2/8	川崎市 - 岐阜市	382.4	6,380	4,190	4,390					
2/9	岐阜市 - 和歌山市	232.4	4,070	2,800 1,600	2,530 300					
計		1,321.7	21,580	15,590	12,800	-	-	-	-	

航空機利用区間	公用車等利用区間
---------	----------

請 求 書

下記のとおり請求します。

令和6年 月 日

和歌山市長 尾花正啓 様

所 属 位	等 級	運 賃	日 当 宿 泊 料	そ の 他 料 金	旅 費 定 額 表	支 給 額	氏 名	請求印	領収印
議員	市長級	49,970			C3+(F1×4)	112,670	辻本 太一		
					62,700				
議員	市長級	49,970			C3+(F1×4)	112,670	林元 光広		
					62,700				
議員	市長級	49,970			C3+(F1×4)	112,670	山本 大地		
					62,700				
議員	市長級	49,970			C3+(F1×4)	112,670	中谷 謙二		
					62,700				
小計		199,880 円	- 円	- 円	250,800 円	450,680 円	4 人		

整理番号	N 8 - 1
------	---------

令和 6 年 3 月 12 日

## 活動報告書

創和クラブ経理責任者  
芝本 和己様

報告者名 林元 光広  
 浜田真輔 中谷謙二  
 山本大地 辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 2 月 6 日 ~ 令和 6 年 2 月 8 日 ( 2 泊 3 日 )
場 所	①2/6,7 KFC Hall 2nd(東京都墨田区) ②2/7 IKE・SUN PARK(東京都豊島区東池袋) ③2/8 大和市文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)
目 的	①予算審議に必要な知見を得るため ②地域防災と賑わい創出視察のため ③学び、文化、子育て支援のワンストップ施設視察のため
内 容	以下の通り <b>①2/6</b> <b>『『まち保育』のススメ ―子どもを育てる、まちが育つ』</b> <b>講師：三輪律江氏(横浜市立大学大学院都市社会文化研究科 教授)</b> <b>■子どもの育ち、親の育ちに必要な“群れ”と“まね”が、現代の子育て環境には足りていない。</b> <b>その解決策のひとつである「まち保育」の実践例は当市においても実践できる可能性を感じたためここに記す。</b> <b>例)①公園や空き地などのまちの資源を保育に活用する⇒②まちに暮らす様々な年代の人、働く人、公園で寛ぐ人と出会い、挨拶をかわしたり会話を楽しむ⇒③子どもの活動を施設や敷地内だけで完結させず、地域の中にある安心感を得る⇒④園庭などを地域の親子が利用できるようにしたり、子育てに関する情報を提供する。敬老の日や運動会などの行事にまちの人が保育の活動に参加できる機会を創る。まちの人が集まり・出会う場になり、災害時には福祉避難所となる⇒⑤偶然の出会いを継続的なつながりに変え、交流を深める、子どもたちがまちの行事や活動に参加する。まちの人が持つ資源(まちについての知識・情報・伝承遊び・畑)が保育に活かされる⇒⑥まちに暮らす子どもや大人の生活についての相互理解が進む⇒⑦施設敷地外に出かける。公園などの目的地に向かって歩く。まちそのものを楽しみながら歩く⇒①</b>  <b>『自治体財政の見方やポイント ―特に歳入関係から予算書を読む』</b> <b>講師：金目哲郎氏(弘前大学人文社会科学 准教授)</b> <b>■予算審議のポイント</b> <b>【地方税】</b> <b>1.税金は確実に徴収されているか、収納率向上の取組は？</b> <b>⇒スマホ決済アプリによる収納サービス</b> <b>2.法定外税の検討、課税自主権の活用</b> <b>⇒ホテル税・宿泊税・産業廃棄物税・空き家税・再生可能エネルギー地域共生促進税</b> <b>【地方交付税】</b> <b>3.〇〇事業は、交付税措置の対象になっているのか？</b> <b>4.国が自治体に求めるホットな政策は計上されているか、自治体独自の上乗せ計上はあるか？</b> <b>⇒地方財政計画を見れば国が自治体に何を求めているのか、ホットな政策課題がわかる</b>

## 内 容

## 【地方債】

5. 臨時財政対策債が安易に発行されていないか？
6. 過疎対策事業債の発行は計画的に、特にイベント系事業に過疎債を充てる場合は慎重に議論を
7. 建設地方債は、更新整備の必要に応じて発行を

## 【ふるさと納税】

8. 寄附金収入（ふるさと納税）が大きすぎないか？
9. ふるさと納税の返礼品（歳出予算）もチェック、自治体を全国にPRするのにふさわしい地場産品か？
10. ふるさと納税を財源にして実施する事業の内容は適切か？

## ■歳入面の課題

1. 国と地方の財源配分の見直し、地方消費税の拡充
2. 交付税率の引き上げ・交付税の制度改革
3. 交付税の算定や制度運営に自治体に参加する仕組み

## 2/7

## 「国際的な食料需給情勢と真の食料安全保障 一政治や私たちができること」

講師：鈴木宣弘氏（東京大学大学院農学国際専攻 教授）

■日本の食料自給率はカロリーベースで38%と言われているが、種や肥料の自給率も考慮すると10%前後であり、海外からの物流が停止すると世界で最も餓死者が出る国。国内生産増強しないとならぬが、逆に国内農業は生産コスト倍増でも農産物の価格が上がらず、廃業が激増しかねない。

今だけ金だけ自分だけの日米のオトモダチ企業が国の政治を取り込み、農家や国民を収奪しようとするのを放置したら、物流が止まれば、国民の食料はなくなる。

農業の崩壊で関連産業や農協・生協も地域の政治・行政も存続できない。

今こそ、協同組合、市民組織など共同体的な力が自治体の政治・行政、心ある企業と連携して地域で奮起し、地域のうねりを国政が受け止めて国全体のうねりにする必要がある。

地域の種を守り、生産から消費まで「運命共同体」として地域循環的に農と食を支えるローカル自給圏。

1つの核は学校給食の地域公共調達。農家と住民一体化で耕作放棄地は皆で分担して耕す。

命を縮める輸入品は国産より高くつくので、消費者も流通・加工も今すぐ国産に。

輸入途絶と消費者の潮流から有機・自然栽培の方向性を視野に。

お金を出せば食料を買う時代は終焉。不測の事態に国民の命を守るのが「国防」なら、地域農業を守ることこそが安全保障。「防衛費5年で43兆円」の一方で「農業消滅」を進めたら「兵糧攻め」で日本人の餓死は現実味を帯びる。トマホークを爆買いし、コオロギ、培養肉、人口卵の推進でなく、農業にこそ数兆円の予算を早急に付けるべし。

## 「生成AI 政治・行政での応用 一自然言語処理研究の事例紹介を通じて考える」

講師：狩野芳伸氏（静岡大学情報学部 准教授）

## ■生成AIの今後

- ・商用利用可能なオープンモデルが増える
- ・画像・音声との統合が進行する
- ・Chat GPTの機能がWindows/Office (Microsoft365)にCopilot搭載された
- ・「ホワイトカラーのよくある仕事」が自動化される
- ⇒日々の業務（メール・企画書・報告書・議事録作成、スライド作成等）
- ・正確なのは人間が出力チェックする必要があるが「下書き」「プレスト」には非常に有用

## ②2/7

## IKE・SUN PARK視察

担当：豊島区議会事務局議会総務課総務グループ 新井清士 主査

豊島区都市整備部公園緑地課 片山裕貴 課長

豊島区都市整備部公園緑地課公園活用グループ 吉澤志保 係長

■造幣局東京支局移転を契機に豊島区とURが連携して防災公園街区整備事業による防災公園区域と市街地区域が一体となったまちづくりを進めている。西側は東京北西圏ターミナル拠点である池袋駅を有する池袋副都心、東側には木造住宅密集地域が隣接しており、その立地特性を活かし、災害に強く文化と賑わいを創出する活力ある市街地の形成を図っている。3.2haの地区の中には下記が整備されている。

## 内 容

## 【防災性向上】

## 1.芝生広場(約6,600㎡)

⇒一時避難場所や救援物資搬入、集配拠点として機能

## 2.ヘリポート

⇒ヘリコプターに対応した耐圧路盤を整備

## 3.防火樹林帯

⇒木造住宅密集地域に面した外周部に火災の延焼を防ぐシラカシを植樹し、防火樹林帯として機能を確保

4.非常用トイレ(イベント時は水洗トイレとして使用、断水時も使用可)、備蓄倉庫、深井戸、応急給水槽、耐震性貯水槽(常時40トン備蓄)、発電機、ソーラー電源、かまどベンチ(炊き出し用かまどが収納)、非常用公衆電話、バルーン投光器

## 【にぎわい創出】

## 5.カフェ(公募対象公園施設)

⇒カフェ隣接のウッドデッキを特定公園施設として整備

## 6.コトポート(事業者の自主事業)

7.ファーマーズマーケット(豊島区の自治体SDGsモデル事業・事業者の自主事業)

⇒農産物や区内の名産品等のマーケットを毎週末開催

## 8.IKEBUS停留所、遊具や健康遊具等を整備

⇒防災公園を池袋駅や池袋周辺4公園等とつなぐ

## 【造幣局時代や地域の歴史の承継】

## 9.造幣局遺構を活用したテーブル

⇒造幣局のマンホールをテーブルとして活用

## 10.モニュメント

⇒かつての排水口をモニュメントとして活用

## 【文化交流機能の誘導】

## 11.東京国際大学池袋キャンパス

⇒地上22階、延床面積約35,000㎡

※公園と大学隣接の0.5ha部分は豊島区がURから借地をして池袋保健所としまキッズパークとして暫定活用中

## ■事業手法

## ◎防災公園街区整備事業

- 1.URが用地を取得するため、用地取得時に地方公共団体の負担がない
- 2.地方公共団体に代わり、URが補助金を申請し、交付を受け、事業を実施
- 3.一般財源部分は割賦償還できるため短期間に集中する財政負担を平準化

## ◎公募設置管理制度(Park-PFI)

飲食店等の公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用して特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を公募により選定する制度。設置管理許可期間の特例(最長20年)や建蔽率の特例(10%の上乗せ)等の特例措置が適用可能であり、民間事業者が園内で賑わい創出に資する飲食店等の事業を起こしやすい環境の醸成を図ることができる

## ◎管理運営を見据えた事業実施体制の構築

設計や施工、管理運営を行う企業で構成されるコンソーシアムを公募し、選定したコンソーシアムの構成企業との個別契約(協定)により事業を実施することで、管理運営(使われ方)を見据えた設計や施工を実現した



## 内 容

## ■主な3つの機能

## 1.一時避難場所としての機能

- ・発災時、木造住宅密集地域に隣接する公園として機能
- ・火災の延焼を防ぐシラカシが植樹され(防火樹林)、地震や火災発生時には、約9,000人収容可能な避難場所として機能
- ・安全が確保された後は、近隣の救援センターに避難者を誘導

## 2.ヘリポート機能

- ・区内最大規模の公園として、ヘリポート機能を有しており、道路閉塞時には各種物資や傷病者の搬送を行う

## 3.救援物資集積拠点としての機能

- ・災害時に国や都、全国各地の自治体や団体等から送られてくる救援物資を本公園に集積し、区内各所の救援センター(避難所)へ搬送する

## ③2/8

## 大和市文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)

担当:大和市屋内こども広場 森貴志 副館長

株式会社図書館流通センター 南関東支社 神奈川営業部 山内賢治 部長

■図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場を中心とした文化複合施設  
駅から徒歩圏内のワンストップ施設開設により治安改善、子育て世代からの人気上昇中。  
地域住民のみならず、近隣住民の利用者数も増加しており、本市にも応用したい。

1F:メインホール(1007席 1階795席 2階212席)、サブホール(272席 平土間使用可)、ギャラリー(219.3㎡ 天井高4m 壁長114.5m)総合案内、図書館(新刊本、身近な暮らしに関する本、雑誌等、気軽に読める本が揃う、自動貸出機、蔵書検索機(OPAC))、授乳室(個室、調乳設備、おむつ交換台)、カフェ(スターバックス)、放送スタジオ(FMやまと:市政情報や地域密着情報を放送するコミュニティFMのスタジオ、災害時には災害関連情報を優先して放送)

2F:市民交流ラウンジ(歓談、ビジネスの打合せ可、有線LAN、電源、印刷スペース有、セカンドオフィス利用可)、図書館(政治、法律、経済、教育等、社会問題に関する資料、閲覧席、自動貸出機、蔵書検索機(OPAC))、コインロッカー(110個・1回100円)、大和市役所大和連絡所、大和市イベント観光協会

3F:げんきっこ広場(3歳~小学校2年生、親子のあそびの広場、専門スタッフがポーネルドプロデュースの遊具を使い様々な遊びを提案)、ちびっこ広場(0歳~2歳の乳幼児の親子あそびの部屋)、保育室(保育士常駐、最大4時間までお預かり)、相談室(保育士)、多目的室、赤ちゃんの駅(授乳室、オムツ替え室)、こども図書館(乳幼児から児童向け)、こども読書室、おはなしのへや(絵本の読み聞かせや紙芝居、手あそび等)、こどもシアターブース(図書館のDVD視聴可)、スタジオ(大 40名:アップライトピアノ、中 5名:ドラムセット、シンセサイザー、アンプ、小 2名)、マルチスペース(小規模ピアノ発表会、合唱・楽器の練習等)

4F:健康コーナー・健康テラス(健康に関する図書・資料の展示、健康講座等)、健康度見える化コーナー(体組成計、骨健康度測定器、電動血圧計、血管年齢測定器、脳年齢測定器は自由に利用可、測定結果を踏まえ健康、食事、運動に関する相談やアドバイスを受けられる)、メインカウンター、予約本コーナー(予約した本の貸出手続を自身で行える)、ティーンズコーナー(中高生向けの本や学校生活に関連する本が揃っている)、まんが・新聞・雑誌コーナー、シアターブース、ロボットコーナー(暮らしに役立つ様々なロボットを展示している)、読書テラス

5F:レファレンスカウンター(専門図書館員常駐)、情報検索コーナー(商用データベース利用可)、地域資料コーナー、読書室、点字図書室、対面朗読室

6F:市民交流スペースぷらっと大和(食事・歓談可)、講習室、大会議室(55名)、中会議室(25名)、小会議室(16~18名)、和室(22畳 24名)、調理実習室、会議室、文化創造室・会議室、印刷室、大和市役所図書・学び交流課

整理番号	N8 - 1
------	--------

令和 6 年 3 月 12 日

## 活動報告書

創和クラブ経理責任者  
芝本 和己 様

報告者名 林元光広 中谷謙二  
山本大地 辻本太一

下記の通り、報告します。

日 時	令和 6 年 2 月 8 日 ~ 令和 6 年 2 月 9 日 (1泊2日)
場 所	
	①2/9 川崎市子ども夢パーク(神奈川県川崎市) ②2/9 岐阜市立草潤中学校(岐阜県岐阜市)
目 的	①多様な子ども達の居場所視察のため ②不登校生徒のための公立中学校視察のため
内 容	以下の通り
	<p>①2/9 川崎市子ども夢パーク(神奈川県川崎市) 担当: 認定NPO法人フリースペースたまりば 理事長 西野博之氏</p> <p>川崎市子ども夢パークは市民や子どもたちとの意見交換により、2000年12月に制定、2001年4月に施行された「川崎市子どもの権利に関する条例」を実現する施設で、2003年7月にオープン、2006年4月1日から指定管理者制度が導入され「川崎市子ども夢パーク共同運営事業体」(公益財団法人川崎市生涯学習財団と特定非営利活動法人フリースペースたまりば)が受託し、管理・運営を行っている。</p> <p>施設の特徴は循環システム型で整備するとしており、「遊ぶ」を「考える」⇔「つくる」⇔「こわす」⇔「考える」の繰り返しと考え、施設も子どもたちが安全に使用できる基本的なものだけが整備されており、その後、子どもたちが施設を使いながら自分たちで創っていくことができる「スケルトン建築様式」を採用しており、将来的に子どもたちが自分たちで増築・改築する等の多様性や可変性を確保している。</p> <p>毎月開催されている「つくりつづける会」にはスタッフ、市民、子どもたちが参加して、子どもたちの「やってみたい！」を実現するための話し合いが行われ、いろいろな大人が自らの得意を持ち寄り、子どもに関わり、見守ることで多様な子どもたちの感性を育てている。ひとりで静かに過ごしたい時に適した部屋や、バンド練習を行うスタジオ、みんなと泥遊びや水遊びを存分に楽しめるプレーパークなど、その日の気分に合った居場所をつくっており、巨大ハンモックや滑り台も大人と一緒に子どもたちがつくっている。</p> <p>同パーク内に2003年7月「フリースペースえん」も同時にオープン。同施設は、学校外で多様に育ち、学ぶ場として、主として学校の中に自分の居場所を見出せない子どもや若者たちのスペース。押しつけになるようなプログラムはなく、いつ来ていつ帰るか、どのように過ごすかは自分で決める事ができる。</p> <p>上記の指定管理料は約79,000千円で、毎年15,000千円の寄附を集めて運営している。</p> <p>年間150~200件の視察があり、海外からも受け入れているが、それは地域に子どもたちの居場所がないからであり、不登校が30万人に及び年間500人以上が、自ら命を断つという異常事態を何とか解決したいとの想いをもつ方々が答えを求めて来訪しているのであろう。</p>